



新板倭名集

下合





外入是

吉村氏竹本

和名集 異名製劑記卷之上



威靈仙 一名能消。ウツホ幹根也。
 冬月丙戌巳ノ日ニトリ。陰乾ニ
 ス。餘月並ニ不壞採葉ハ柳葉ニ似
 テ車ヲカサ又重成ニ一六七葉。車ノ
 輪ノ如シ。六カサ子アリ。七カサ子ニ至ル
 者。七月ノ内ニ花ヲサス。葉或ハマラク。
 白色ニホラナク。實青。根シテク長類
 多シ。水聲ヲ不聞者佳也。土氣ヲ洗。煎
 三酒浸事一宿シテ。燻リ用。茶ライム
 郁李仁 一名六爵李。一名八車。下李一名
 ハ棟。五月六月ニ根ヲ採。實ハ核中ノ仁
 フトリ用。雷公。凡採得ニ先湯ニヒタ
 シ。皮ヲ削リ去テ。能洗。生蜜



ニタス一宿ノ澆^シ陰乾^シ研^ミ
テ膏^ノ如^ク用^ト。但^ニ日本^ニハモ^ノサ子^ト
ト云^フ。又^ニ庭^ノサ^クラ^ク子^トモ^ニ其^ノ炒^ル
テ打^ツタ^キ中^ノカ^ニ包^ミ三^握
テ打^ツ油^ヲトリ^ル

茵陳蒿 五月及立秋ニトル日本ニハ

河原エモキト云エモキノ葉細ヤウニ
テカラエモキニ同^シ但^シカラエモキ
ヲ用^ルモ吉^ト云^フ。又^ニ家^ノ蒿^ノ陳^ニ似^テ

大^ニ高^キ一^ニ四^尺。極^メテ芬^ク香^ク
ノ味^草ク辛^ク雷^公カ^ニ凡^ク使^フニ^須
ク兼^テ用^スハ^ニ八^触ナ^ル者^ヲト^リ得^テ

陰乾^ス根^ヲ去^テ細^クキ^サ三^用葉^ヲ
實^根ヲ合^セ使^フ事^ナカ^レト^火ノ息^ヲ

蝟皮 粟^イカ^ノヤウ^ニ身^ニ彫^ル魚^ノ

ハ土器^ニ入^テ燒^用蟲^魚部^ニアリ

葦毛馬莖 ア^ノ馬^ノノ^ク也^能洗^ヒ乾^ク
テ置^テサ^シテ^ラロ^シテ^用テ^煎ニ^ヒト^ク

露蜂房 ^クニ^ハチ^ノ巢^也。ル^キス^スノ

如^クル^ク上^トス。名^ハ蜂^蟻名^ハ百^穿

穿^ニ名^ハ蜂^蟻七月^{七日}取^ルテ^ホ
ニ^ハ酒^ニミ^タシ^テ用^ス

蘆薈 一名^ハ訥^會。名^ハ如^會味^ニ苦^ク
故^ニ俗^ニ呼^ブテ^象膽^ト名^ハ巴^豆ノ

毒^ヲ解^ス者^也。代^テ藥^ニ沒^藥ヲ
用^ス大^ニ秘^事也

鹿茸 麋^鹿茸^上ニ^同鹿^ノ角^ノ彫^ルヲ
云^フ。毛^ヲ燒^ステ^ク煎^ニミ^タテ^使フ

鹿陰 即^チ腎^ノ丸^ノ製^法在^ニ同^シ

漏蘆 一名六野蘭山谷ニ生ス八月ニ根ヲ採テ陰乾ニス生甘草煎汁ニ已時ヨリ申時ニテヒタス後甘草汁ヲ去テ令清用ニ代藥ニ外麻ヲ用ヨ
鷺鷥草 葉甘草ノ事也日ニ之ニ上
二同シ

巴戟天 二八月ニ根ヲ採テガケホシ
波

馬牙消 石藥也其ニ使
麥門冬 日本ニヤウガヒケノ根也一

名ハ禹餘 一名ハ禹餘 二三八十月ニ根ヲ採テカケホシニ土氣ヲ洗ヒ心ヲヌキサリ日ニホシキハニアス鐵氣ヲ忌

馬鞭草 葉ニ似テ少ホソシ
ウス此糸之也ニサク六月ニ葉ト穂トヲ採テ日ニホシ用テ炙ラ忌

白頭翁 一名ハ野大 一名胡王使者 一名ハ柰何草 日本ニテツワト云草也冬花サケ花黄色也コノ草山谷及田野ニ多シ四月ニ採テ日ニホス
蜜蟲 唐クアケ也グクニ用テ足ラサテ用ユ

白花蛇 一名ハ寒鼻蛇 九十月ニ採捕テ火ニ乾ス大ナル者長サ三尺ハカアリ唐ヨリ山椒ニミセテ來ト云フ腹口タノ付タル所ト頭ヲサツテ酒ニホトスル櫛浸シ身ヲトツテ割ニ焦色ニ炙リ研テ用

半天河 籬ノ竹ノ中又ハ木ノ多ク中
ニタミルテアル水ノ事也

半夏 一名只守里 名ハ地文 一名只水

玉 一名ハ示姑 日本ニハトヒスヒト云

韮也 八月ニ根ヲトル又五月ニ下レバ

根小テ輕シ 八月ニ下レ根太テ重シ

然共々々ニ生ズニ成テ 五月ニ下レ弁

ノ地ヲ耕シ 半夏散失スル故ニ今

五月ニ下ルノ 八月ニアラハ成ヘレ採

得テ 生シノクナリテ 熱湯ニテ七度

洗テ 滑ラ去日ニホレ 用ル時薑ニテ

アヘテ 焙リ用ヘレ 又生九時七度洗

テ 即白ニテ 搗碎キ 生薑ヲ少加ヘテ

羊合豆神麴ノ如クニ 圓ク平ク 麴ニ三

夜子サセテ 日ニホレテ 置ラ半夏カウ

シト云尤可也 六陳ノ内ナル古ヲ用

メニニ年ニナラ子ノ用 又生薑多ク

ハ半夏ノ性失ス 使時能炒テ用

雷公カ傳ニ酢ニテ 製ス法アリ

防己 一名ハ解離 日本ニスツラフシ

ノ根也 二八月ニ根ヲ採カケホレニ 莖

ヲ木防己ト云 莖ニタシキサニアフル

菊根 一名只蘭根 一名ハ茄根 一名ハ

地管 一名ハ地筋 一名ハ兼柱 日本ニ

テハ子カヤノ子也 六月ニ根ヲトル 白

水ニ一夜トタシモラ去キサニタスル

馬蘭花 ムレロニスル井ノ花ナリイ

貝母 一名ハ空草 一名ハ藥實 一名

ハ苦花 一名ハ苦菜 一名ハ商草 一名

ハ勒母。十月ニ根ヲトツテ。暴乾
ス。皴ヨリ下ニツニグルヲ公用ス。シラ
モナク丸シニツニワレサルハアレ、名
テ舟龍精ト云。若ヤヤリ服スレハ
令人筋血永叙マラス。坐ニ少イ
リテ用

梅花。ワツシククイノ花ヲ用。日ニ炙
巴豆。一名色椒。凡ソ使クニニツニ割心

幕ヲ去テハ必一兩ニ麻ノ油并ニ酒
各七合入テ煮汁盡ルヲ度。又カ
三ニ包マクヲラシ取ニ使。方モアリ

敗龜甲。川ガカクウキル。製法。斃甲
ト同

敗鼓皮。ガレタル鼓ノ皮也
毛硝。其ニ使雷公方傳ニ水飛

薄荷。白花サ香ノセヌスハツカト
云フ。薰ノアルヲ羅蘇ト云フ。龍
腦。ハツカ上ニ同シ。火ヲ忌ム

麥芽。大キキヲ水ニ浸シカタヌニ置
ハ目生ス。其ヲホレテ炒テモヘサキト

皮ヲ去テ研ノ用
防風。一名ハ銅芸。一名ハ苗草。一名ハ
枝。一名ハ屏風。一名ハ簡根。ハバタニ

多生ル者也。二月十日ニ根ヲ搯テ
暴乾ス。頭ノニミタナル根ノニミタチ
ルトス。不用。蘆頭ヲ去リ坐氣ヲ洗

也。羽ヲ去リモサニツト炒テ用ユ
也。羽ヲ去リモサニツト炒テ用ユ

也。羽ヲ去リモサニツト炒テ用ユ
也。羽ヲ去リモサニツト炒テ用ユ

也。羽ヲ去リモサニツト炒テ用ユ
也。羽ヲ去リモサニツト炒テ用ユ

也。羽ヲ去リモサニツト炒テ用ユ
也。羽ヲ去リモサニツト炒テ用ユ

馬兜鈴 日本ニテカガイモノ根ヲ使
ス。白水ニ一夜ヒタシキヤニ灸ル唐ニ
實ノカヲ使フト見タリ

白梅 高麗ヨリ渡ルト云フ。ウイニスル
クヌラ白サトウニ入テ匙ヲ用ユト未
審

白扁豆 日本ニテハ唐マメト云イリテ丸
湯ニ浸レ處ヲサリ。日ニホシヨロテ用
班猫 八月ニ採テ陰乾ニス使ニモ干
米ノ沸ニタシ炒。又舂足ヲサリ

白水ニヒタシ後モ干米トツニ入テ
炒テ焦色ニナシ米ヲサツテ研ス

人參 一名ハ人御。一名ハ鬼蓋。一名ハ
神草。一名ハ人微。一名ハ土精。一名ハ

ハ血參。人ノ形クノ如クモノ神効
アリ。二四八月上旬ニ根ヲトクテ
麋皮ヲサリ。暴乾。細辛ヲミセテ風
ニヒカヌ物ニ入ラヌハ。父レクテトモ人

參ノ子ス。蘆頭ヲサリ。日ニホシ。鹿
蘆頭ハ吐逆セシムル者也

肉苁蓉 五月五日ニ採テ陰乾ニス。ト
日本ニテハ天竺ニテ産ノツルニタル處
ニ生タルクサビラ也ト云説アリ代藥ニ

五味子ヲ酒ニ一夜ヒタシ炒テ使フ秘
事ナリ或説ニ胡蘆巴ヲ使フト云
肉豆蔻 麩ヲ醋ニテ子ニ豆蔻ヲツ

ミアクノ中へ入テ煨シ麩ヲサリ搗
テ末ス。銅鐵ヲイム
乳香 カニニ包ニ碎テ細ニス。クニ息

忍冬 日本ノイカツラフ也。十月ニ採

テ陰乾ニス。ル葉トモニ日ニホシテ割

ニ炙リ用ユ。バナヲ金銀花ト云ス。冬ヲ

凌テ不釋故ニ忍冬ト云

人手足指甲 人手足ノ爪ヲ切タル

ヲ取テキテ使フ。炒テ烟ヲ絶ス

肉桂 一名ハ桂心。一名官桂。一名ハ尉

他圭鹿皮ヲ削リ去テキサム。火ヲ

イム



蓬莪朮 一名ハ蓬朮。一名ハ波殺。カニ

ツクニ炮シキサニ用ユ。又醋ニテ煮テ

キサニ焙リ用ユ

牡丹皮 一名ハ鹿韭。一名ハ鼠姑。ホタ

ノ根ノカワ也。二月ニ根ヲ採テ陰

乾ニシテ氣ヲアラセ銅刀ニサイニ

ヲサリ細ニキサ三日ニ示山中ニアル花

ノヒトニシテ赤キヲ用ユ。人家ノ庭ニア

ル千葉ノ花アルハ藥力ヨク。鐵氣

ヲイム

蒲黃 日本ガノ草也。池澤ニ多ク生

ス。血ヲ補血ヲ止ルニ灸血ヲヤフリ腫

ヲ消スルニ其儘生ニテ用ユ

牡蛎 一名ハ蛎蛤。一名ハ牡蛤。日本カキ

即ノカラノ事也。火中ニ入テヤシテ地

上ニ冷テ火毒ヲサリ未ス

蓬砂 鴈砂 上ニ同ニ其マ使ス。又土

裏ニ入炭火ノ上ニ置テヤシテ用

補骨脂 一名ハ破故紙。又胡韭子トモ

名ク綠色ナリ。葉小ニ薄荷ニ似タ

リト。少シ炒リ用

北味 五味子ノ事ナリ

蜂窩 土光ノ中ニライタル蜂ノス

ノ事也

邊

驚甲 海カクカク也米ノ醋ヲヌリテ

炭火ニテ六七度モ炙リ我ト碎程ニシ

サテ上ノ楮ヲ去テ石ニ碎キ白中ニ

テ搗テ粉ニ用ユ

守腦 龍ウノ事也其ミ使フ

扁蓄 日本ニモアリ河原道ノハタチトニ

多シ五月ニ採テ陰乾ス根ヲ去テ土氣

ヲ洗ヒ割アリ用

資

冬放天子 アライノ實也炒テ用ユ

紫色ノ花サダ用ル也

菟絲子 一名ハ菟蘆 一名ハ菟縷 一名ハ

唐蒙 一名ハ玉女 一名ハ赤綱 一名ハ赤

鬚 日本子ナレカツラノ實也。九月ニ

實ヲ採テ暴乾レ酒ニ浸ヨククカラカシ

テ酒ヲレタテ瀝リノ内ニヲロク粉トナ

土朱 常ノ朱ヲ用ト云リ又赤土ノ事

也トモ云秘ニ云ク丹土ノ事ナレキ歟

獨活 一名ハ羌青 一名ハ護羌使者

一名ハ胡王使者 一名ハ獨搖草 日

本ウトノ根ナリ莖ノキヨノ黄色ニシテ

多カミリタル處ヲ獨活ト云フ紫色色ニシ

ホンナカキ所ヲキヤククツト云フニ八月

ニ根ヲ採テ暴乾レ土氣ヲ洗ヒ日ニホレ

テ割アル

杜仲 一名八思仲 一名木綿 日本マニ
ト云ラ木ノ皮也。二五六月皮ヲトツ

テ鹿皮ヲ削リ去テキサニ炒用ユ。又

薑製スルイリテ用ニ對ス其絲カイト

切又者ノ能ク六絲斷也

兔頭骨 ウヰキノ頭ノ骨也。十二月ニト

ツテ霜ニテ使フ

兔腦髓 ウヰキノ頭ヲ十二月ニ採ニ陰

乾ニツカフ

土硫 山ニ有イカニ赤キ土ヲ掘ニ入

レ水ニカキタテ沙石ヲユリステ其後

彼土ヲイセテ上ノ水ヲ捨日ニ乾レ使フ

桐油 キリノミノ油ト云説ナリ

杜若 川藟ノ事也

銅青 銅緑青トモ云トニ同ニアカ

子ノクヲサセノ事也

豚甲 一名豚顛イノレノキダマノ

事也 懸蹄ハ猪トダノ也



丁香皮 二月ニトシ鹿皮ヲ去ニ使

丁香 乙上花トテ去テ使火ヲ息

沈香 一名八馬蹄香又鷄骨ニ似タル

者ヲ鷄骨香トナスイカニモ重ク水

ニ沈ム者佳也丸散ニハ一度ニ合サ用

ヘシ煎藥ニハ餘ク藥ヲ煎ノ飲サニ

沈香ヲ末ニテ用シ又水ニスリタテ

モハル火ヲイム

地骨皮 クミノ根ノカワナリ十月ニ採

テ土氣ヲ洗キサ三日ニ乾炙リ用ユ

又酒ニ三日浸ソ日ニホシテ用ユ

下也枸杞ノ下ニモ記ス

地膚子 一名ハ地葵 一名ハ地麥 日本

ニ云ハウキヅノ實也 十月ニ實多

採テ陰乾ニス少シイル

知母 一名ハ紙母 一名連母 一名ハ

野藜 一名ハ水參 一名ハ女雷 一名ハ

貨母 一名ハ女理 一名ハ見草 一名ハ地

參 一名ハ見踵草 一名ハ水滲 一名ハ非

逢 一名ハ東根 一名ハ水須 川谷ニ生ス

二月ニ根ヲトツテ暴乾ス 銅刀ニテ

毛ヲ削去テ割ミ酒ニウレホシ炒テ用

ニ鐵ヲ忌

陳皮 ミカンノカワ也 白水ニエタシ裏

ノ幕ヲ去テ干キサミ日ニホレアブリ

用コ又白ニ去ズモ使ワ

猪脂 ブタノアフラ也

栝實 一名ハ谷實 日本カミニスク

カウツト云木ノ實ナリ 八月ニ實

ヲトツテ日ニ乾炒テ末

地榆 日本ニ云ノコギリ草ト云ラ葉

ノコギリニ似タリ實アカシ野ニ生ス

二月ニ根多採テ暴乾シ 土ニ氣ヲ

洗テ白水ニ一夜浸シ盧頭ヲ去テ

キガミ日ニホレアブリ 用唐ヨリ來ル

藥研ミクワス時ニユナリテ杜仲

ノヤウナリ

猪苓 一名ハ猪猪尿 二月ニ採テ陰

乾ニス 鹿皮ヲ削リ去テ米ノ泔ニ

タシ洗ヒ坐ミ日ニホス

地龍 蚯蚓ノ事也 日本ニテハミナト

ニラ六月ニ道路へ出タルヲ採テ腹ヲ
ワリテ中ノ砂ヲ去テ酒ニテ洗ヒ又

酒ニ一時ホト浸ルホリ上テキサニ炒ル
竹茹 生ナルカラタケノアハタノ事

ナカ上ノ青キ皮ヲ去リサツテ下ノ白ニ
シヨツダ取テ日ニホシ使火ヲイム

竹葉 生ナル淡竹ノ葉ヲトツテ兩ノ
尖リヲ去テ用ユ

竹瀝 生ナルガラタケヲ切テ節ヲ去リ
四ツラリ火ノ上ニ置テアフレハ兩ノ

切ヨリ汁出ルヲキヨクニシテ煎
藥へ入レ用ユ

竹筴 又ケクノ事也
陳壁土 フルキカヘテ事也多碎キテ

桶ニ入水ニカキタテ石ノニリステ土ヲ

イセソウズスニラレハ日ニホシ使フ
地黄 一名地髓一名地土一名地骨日

本ニアルニ八月ニ採ル其ノ日ニホナス
生地黃ト云ル日ニホシタル生乾地

黃ト云ル蒸テ乾タルヲ熟地黄ト
云ラ生ニ石レメリタル藥劑ニ使ヒ難

ニ依テ生地黃ト有モ生乾地黄ヲ用
白水ニ浸シテ刀ニ切リ三日ニホシアブリ

用銅鐵ヲ忌ム或酒ニ洗ヒ或ハ
薑汁ニテ製スル事モ有昔カニルハ

モ若シ銅鐵ノ氣ヲオカセハ人ノ腎氣
ヲ損シ并ニ黒髪ヲ白カラセト



龍膽 色ノ白アル又黒ク紫色ト
白クモトノ交リタルモアリ銅刀ヲ以テ

コラケテ舌^シ上^ニ置^ク粘^ク火^ヨヨ^シ鹽^ヲ
挫^キセテ土^カ器^ニ入^レ炒^ツテ塩^ヲ去^リ用^シ
又炭^ス火^ヒ中^ニテ煨^キ土^チ上^ニ置^ク火^ヒ
毒^ヲ去^テ用^シ事^モアリ又^ハ米^ノ酢^ニ
ヒタ^シ打^碎ニ^シ多^クロ^シ使^フ也

龍齒 酢^ニ浸^シヤ^キ用^ニ又^ハ其^ノミ^モ
使^フ

龍腦 梅花^ト石^白ク^スキ^トラ^リタル^ヲ

良香 日本^サ參^州ノ深^山ニ^アル^山ハ^ツカ
三^ト云^葉ハ^ニツ^ガノ^葉ニ^似ニ^其根^ニ
赤^ク丸^キ實^ヲ生^スコ^レラ^伊豆^縮砂^キ
ト^云フ^也其^根食^香ナ^リト^云フ^説アリ
狀^ヨク^似テ^性味^ハ少^クス^レ本^草ニ^ハ
高^良香^トナ^ル也^火毒^ヲ去^ニ使^フ

及^ハ東^壁玉^ニ并^シル^テ用^スル^ヲサ^リテ
用^ユト^ナリ^油ヲ^ヌル^ト云^フ説^モキ^シ
菴^蘆 一名^ハ葱^薺 一名^ハ葱^薺 一名^ハ葱^薺 一名^ハ葱^薺
山^葱 日本^ニス^ルオ^モト^云草^ノ根^十
リ^三月^ニ根^ヲ採^テ陰^乾ニ^ス白^水ニ^三
夜^浸ノ^竹葉^ヲス^ク製^シ又^ハ熱^湯
元^レ竹^ヲ以^テ方^キタ^ツレ^ハ味^タツ^其
ヲ^能洗^ヒ去^テ日^ニホ^シタ^テ水^藥
研^ミタ^ツ只^ニ云^ク採^得テ^竹ノ^カニ^ニ
テ^上皮^ヲヨ^ク去^テ白^ニテ^ツキ^テ散^ス
粉^ノ如^クニ^クイ^サス^ル上^ノ水^ヲ去^テ
テ^日ニ^ホシ^テ後^ニグ^ツテ^使フ

龍眼 實^ニ來^ル物^ノ實^也中^ニク^レ
棟^ノ肉^ノヤ^キル^者少^シアリ^一段^ア
一^キ物^ナリ^日本^ニス^ル棟^ノ實^ナリ

一^キ物^ナリ^日本^ニス^ル棟^ノ實^ナリ

上云フ此説未審別ナルレ儘レ

代藥ニ使フ歟

米 キヒノ事ナリ青黄白色ノ三

種アリ

劉寄奴草 ツラカ草ノ事也上云

崔草

日本カチムクフ上ニツル也キ

サニ灸ル

遠志 一名棘菫 一名八葉菫 一名八

細草 日本ニモアリ小草ト云 七三

月ニ根葉ヲ採テ陰乾ス土氣ヲ洗

ヒ日ニ乾蘆頭ヲ去テ打タキ心ヲ云

テ焙リ用

雄黄 研テ水漬ク乾シ再研

テ藥中ニ入レ用

賢子粟 一名八象谷 一名八米裏一

名ハ御米 日本ニ云ケレ事也

罌粟穀 ケレノカラノ事也白水

ニ浸レ裏ノ慕ヲ去テ判アスル

王不留行

日本ニアリ 和フカナ草ト云

草カサ草ト云俗カワヂヤト云

フニ八月ニ採ル漿水ニ夜ヒタレ炒ル

黄芩 一名八戴糝 一名八戴楨 一名

八斐草 一名八罌脂 一名八砂 本和

ヤハラ草モカハラサヘニ二月十月ニトツテ

陰乾ニス蘆頭ヲ去テキサニ炙ル上

焦ヲ補ニ表ヲ扱ハ酒ニ漬ナアスル

脾胃ノ調ニ蜜水ニ浸シ焙ル下焦
ノ元氣ヲ補フニ鹽水ニ浸シ焙ル
味ノ其キヲ用ユヘレ昔ハ今瘦シム
ルノ對スラウタノ如ナルヲ綿黃綿黃其ト
云フ又二説ニ綿ハ地ノ名トアリ

黄芩 一名ハ内唐 一名黄文 一名經

今一名ハ妬婦和ハヒレハ三月三日ニ
根ヲ採テ陰乾ニス中朽々々空腸

ト云フ又片々テアトモ云クキタル處ヲ削
カナル細ク堅キ處ヲ鼠尾ト云フ又條

茶アトモ云昔酒ニ浸シテ阻傷寒
裏熱甚キハ生ニ用ユ方ニヨル

黄連 一名ハ玉連 日本ニアリ和カク

草ガイマ草 蘆頭毛トヲ去テ
ニ炒ル又酒ニ浸シ焙ルモアリ方ニヨ

ルニ目ノ藥ノトキハ生ニ使フモ

黄栢 黄蘗トモ書ク名ハ檀桓日

本ニ云キウタノ事ナル鹿皮ヲ削リ
去リ剉ミイル或ハ酒ヲヌリ或ハ蜜ヲ

ヌル又ハ鹽水ニヒタスモアリ何レモ剉
ミテ使フ

黄丹 即チ鉛丹 一名ハ鉛華ツ子ノ夕

ニノ事也ヨク研ニ水飛ソ日乾再ヒ
研ニ使フ

黄精 一名ハ重樓 一名ハ筍竹 一名ハ

雞格 一名ハ救窮 一名ハ鹿竹山ニ生

ス二月ニ根ヲ採テ陰乾ニス雷公カ
云ク葉ハ竹葉ニ似タリ凡採得テ
先溪水ヲ以テ洗ヒ淨メ後ニ蒸テ

巴ヨリ子ノ時ニ至ルトサテ細ニキサミ
曝乾用ヨ。日本ニモアリ。丹波雲州
ナトニモアリ。所ノ俗ニシテ名ニアルト
コロト云フ。根ヲ堀テ食ス。根ハ麥門冬
ニ似テ長シ有テツ、イリ葉ハ壬ニキヲ
包サニ似テ筋アリ。霜ノ降リヨリ十
六葉皆黃色ニ成ナリ

加

甘草一名國老。一名八寶甘。一名ハ
美草。一名ハ蜜草。一名ハ落草。和ア
一木日本奥州ニアルト也。アノクハ少シ
温ニナルソ脾胃ヲ調ヘ氣ヲ補ニ灸
ル。熱ヲサスハ生ヲ用ユ。上皮ヲサル
耳松香 布ニ包ミ水ニテ土氣ヲ洗
ヒ翌三日ニ乾シ使フ

寒水石 一名疑水石。一名白水石。能
クスキ通リタルヨレ目薬ニ使フ。時ハ
酢ヲ付テ生炭ヲ二重火ノ上ニ置
テ蓋ヲシテ七度ヤクハ少シ。灰色ニナ
ルヲ研テ水飛シ使フ
訶梨勒 雷公カク云ク四種アリ。云未
ク其狀キヲ知ラス。凡修事スルニ先
酒ニ浸シ後ニ蒸フ。一時其訶梨勒
ヲ刀ヲ以テ肉ヲ削リキサニ乾テ用
ユトナリ

蛤粉 一名ハ文蛤。一名伏老。ハミクリ
真カフノ事也。イカニモ陳キラ能ヤ
キテ碎キ使フ。但煎藥ニ入レス
香白芷 一名ハ芳香。一名ハ白芷。一
名ハ薷。一名ハ莞。一名符離。一名只

澤芥葉ハ南麻ト名ゾ日本ニモ
アリ和名 カサモチ。ヨロイ草。サハ
ド。二八月二根ヲ採ニ有蒸乾ス製法
ハ蘆頭ヲ去リ土氣ヲ能洗ヒワスク
到三沸水ニ一時オト浸レ蒸テ日ニ
干テ使フ火ヲ忌ム

香附子 莎草根ト云ラ。一名ハ菖蒲。
一名ハ菝葜。一名雀頭香。日本ニモ
有和名。ニクル又カヤシリクサトモ云フニ

八月ニトル雷公カ云。凡採得テ陰乾
ニ石臼ノ中ニ於テ搗鐵氣ヲ犯スラ
ナカレト今常製スル皮毛ヲ削リ
去テ白ニテ少キテ能炒リ用ユ

何首烏 一名野苗。一名六藤。一名ハ
夜合。一名地精。一名八陳。白雷公

製論ニ云ク春夏採竹ノ皮ヲ以テ切
テ米ノ汁ニ浸テ一宿ヲ經テ蒸乾ス

蔓ハ紫色。花ハ黄白。色ニ暮黃ノ
如シ赤白ニ種アリ。赤ハ雄。白ハ雌ナリ。

用ル時ニ木臼ノ中ニ少キ碎キ細ニシ
使フ鐵ヲ忌ム日本ニモ大山ノモトナ
上ニアリ葉ハヤマイノイモノ如クニシテ

ニ黒ニサスナリ。根ニ白ク色ケテ多シ或説
ニ俗ノ云々ラフヲト云ツルアリ是ナルニ

香蒲 メカミノ事ナリ
合歡 一名ハ合昏樹。一名ハ忘憂。

一名ハ夜合。和名 子フノ木ノカマナリ
時ニ拘スノトル鹿皮ヲ削去テ坐ニ
乾シ用ユ

夏枯草 和名 シンタウ草。花ノアル

時ニ採テ干シキサミ炙リ用子或
説ニ根ハ歲靈仙也ト云フ

海桐皮 海水ニ浸シ能洗ヒ上カワ
コソケ去テ割ミ炙ル代藥ニタラフホ

ノカワラ白水ニニ夜ヒタレテ
ヲコソケ去テ割炙テ使又云イ

又サレセウノ木ノ皮ト云フ説アリ或
本ニ云合歡ハ南蠻物ナリ舟ナリ

十八ニスルナリ

乾薑 生姜ヲ九月ニ採テ井花水
ニ三日浸メ上皮ヲ削リ去テ又水ニ

六日ヒタレ毎日水ヲカユル也セテ日ニ
ホレ用ル時ニキサミ炙ル井花水

ト云ハ平日第一ニ汲水ヲ云ス又藥
屋ニ賣ハ蒸テ石灰ニソフニ四貫ナ

リ其ハ熱湯ニ浸シ上ノカワト石バイ
トシ削リ去テ紙ニ包ミホニヌラ

シ熱ハイニテ炮ノキサミ炙テ使フ
乾生薑 生ナルバヒカニラ其ハ日ニ

ホレタルヲ云フ

葛根 一名ハ雞齊根一名ハ鹿藿一
名ハ背カ 和名クスル根ノ事也五月

ニ根ヲ採テ暴乾ス人家ノ近キ所ニ生
スヲ用ニ深山ニ生スル毒アリ製法

蘆頭ヲ去リ土氣ヲ洗ヒ去テ日ニ示
シ割ニ焙リ用ニ葉ハ金瘡ノ血ヲ止ル

ヲ去リ花ハ酒ヲ消ス事ヲ生ル

葛粉 生ナクスノ根ヲ水ニ浸シ搗テ
其汁ヲイサセテ日ニ乾ラ云フ即チ

クズノコノ事也

海南石 カクイノ事也 三ツゲ使フ

交葉 一名ハ米甚臺 冬ハ醫草 和名 王

モキノ兼本草ニ三月三日ニ採テ日暴

干トアリ日本ニテハ五月五日ニトリ

來ル也又云モチ米ト交テ礫ニタモ

搗合セ麩ニ乾キサミラリテ用ル

モアリ

蒼朮本 和名カガモチ ガハフフレプラレ

土ニ養ヒ洗ヒ割ニ用ユ又ソット及ト云

フ説アリ代藥ニ川茸ヲ用ユトナリ

香薷 日本ニ多キ也此藥ヨク入レレ

ル故ニ安ク記サズ圖經云夏ハ葉秋ハ

ホヲ採テ陰乾ニシテ用ユホをモ効ア

リ火ヲ忌

甘遂 一名ハ甘甚臺 六陵澤 一名

八重澤 一名ハ土田 和名ニハフニハフ子ニ

月ニ根ヲトツテ陰乾ニス。雷公カニ云ク

凡トリ得テ後葉ヲ去リ根ノ上ニ於

テ細ニ割ニ生茸中湯水蒸丸ノ自

然汁ニ味シ用ヒテ。三日浸セ公其水

墨汁如サテ漉出シ東流水ニテ

淘洗シ其水ノ清ク度トシ後ハ土器

中ニテ晒メ用ト也。秘ニ云ク相又ノ

藥ヲ以テ其遂ノ毒ヲ去ト見タリ

若此藥ヲ用ルラハ製法ニルカ

乾漆 ウルシ 夏至ノ後採テ陰干ニ

ノ打タモ土器ニ炒テ晒メテ書使フ

海帶 ニルノ事ナリ 黒燒ニシ使事

モアリ

交桂 三桂ヲ交ヘタルヲ云フト又一

説ニ交州ヨリ出ルヲ云フト也

海藻 一名ハ落首一名ハ瀧日本六

神馬草ト云又ニクイトモ云フ七月七

日ニ採テ暴乾ス

荷葉頰 ハスノ花ニテモ葉ニテモアレ

ツキタルキウラ用ユト又云花ト葉ト

ノ際シ用ユト也

毫車 カルキ筆ヲトリ集焼テ使

海羊 カタツリノ事也袖珍方ニ見

義水 蓬莪木トノホノ字ノ篇ニ記ス

慧苡仁 一名ハ解蠶一名ハ屋茨一名

八起實一名ハ藪和名ニユスタマノ

事也實ノ乾スルヲ採テニツニ割テ

穀ヲ去リ炒テ用ニ根ハ採ニ時ナレ蘆

頭ヲ去リ銼土氣ヲ洗ヒ三日ニ乾シ

炙リ用ユ

預知子 マメ瓜ノ實ナリ中ニ縮砂ヤ

ヤツナル實アリ其ヲ採リ煉テ使フト

丹参 一名ハ紅蟬草一名ハ赤参一名

朱羊乳名アニ草日本美濃ノ國

ニアルト也五月ニ根ヲ採テ

丹砂 一名ハ真朱日本ニモ伊勢ノ國

ニアリト云ル水飛ノ研テ使フ

大薊 小ケイ俱ニ種也大ケイハ山

谷ニ生スルアガニ也鬼アガニトモ云ル

五月ニ根ヲ採テ土氣ヲ洗ト蘆

五月ニ根ヲ採テ土氣ヲ洗ト蘆

五月ニ根ヲ採テ土氣ヲ洗ト蘆

五月ニ根ヲ採テ土氣ヲ洗ト蘆

五月ニ根ヲ採テ土氣ヲ洗ト蘆

五月ニ根ヲ採テ土氣ヲ洗ト蘆

頭ヲ去リ割ニ炙リ用ユ。小ナイハ人
家へ近キ田野平澤ニ生スナリ藥
性少シカハルン

澤漆 一名ハ澤莖。大戟ノ苗也。三月

七日ニ莖葉トモニ採テ陰乾ニスト日

本ニハ野ウレノナリト云説アリ

又一説ニサキノ葉也日ニ于テ使フ

トアリ未詳カラス

大戟 一名ハ功鉅澤漆ノ根也。十二

月ニ採テ陰干ニス白水ニ浸シ土氣ヲ

洗ヒ蘆頭ヲ去リキサニ晒干用ユ

當歸 一名ハ乾歸。一名山勒。日本

ニテハ常陸ノ國ノ當歸ヲトス越

前信濃ノ當歸ハアリ。和ヲホセルヤ

ニセルクセルカカ。六月ニ根ヲ

採テ陰乾ニス白水ニ浸シ土氣ヲ洗

ヒ蘆頭ヲ去テキサニ日ニ于焙ル又

酒ニヒタシ炙リ腫心事モアリ

桃花石 カルイノ事也

濯瀉 一名ハ水瀉。一名久延。一名世

羊。一名ハ鶴瀉。和名オモカカ。根ノ

事也。五八月ニ根ヲ採テ陰乾ニス土氣

ヲ洗ヒ毛ヲ削リ去テ日ニ于干。三アフ

リ用ユ。又酒漬ノ使フ事モアリ

桃仁 モノ種子ノ中ノ實也。七月ニ見

炒テ湯ニ浸シ皮ト去リト去テ銅

子カキキキ。五子

刀ニ割ニ用ユ

鑛墨 大ハ金ノ事也

桃花 毛ノ華ノ事也。三月三日

ニ採テ陰乾ニス

桃鬼 一名桃奴 一名白果 一名白果
熟せしス。落イヌ木 一名著アフル正
月ニトル也

桃膠 モノヤニナリ。干カタクニ使フ

澤蘭 一名八節蘭 一名六龍葉 一名

八虎葉 和名サハラキアノカクサ葉

四角 三角通ルクホミアル。三月三日

二捺テ陰乾ニス

大東葉 一名八乾葉 一名美東葉 一名ハ

良葉 和名チツクノ事也 大丸ヲ蒸

ン日ニ干スニ度ニ絞ラトニ 藥ニ入

大黃 一名八將軍 一名八黃良口オモ

アリニ八月ニ根ヲ採テ蒸暴乾スト

唐ヨリ來ルヲ用ス。其二ノ到三用

又ハ紙ニ包ニ炮

大陰交精 カナクソ 二月ニトル

代赭石 一名八血師赤 紅青色ニ雜

影ノ如シ鹵水下。自然ニ凝結メ石ノ

如ニナルト日本ニモ太宰府ニアルト也

製法ハ細ニ研テ水飛ノ水ニ浮フ

物ヲ去リ再研用

珠珀 ヤスリニ研シ粉ニ用ユ

大角豆 サケノ事也

大腹子 日本ニ拱柳上ツニ用ユ。天

丸ヲ大腹子ト云小サク圓キヲヒシラ

ウト云ハ不圓然ト見ヘタリ。圖經ニ云

大腹トヒシフト相似タリ。但莖葉根

莖少シ異也。陶弘景曰ク陽ニ向ス

シラウト云陰ニ向フヲ大腹子ト云

ト也。臍ヲ去リ到三用ユ

大腹皮 即千大腹子ノ皮ナリ先搥
ニテ打テ白米ニ一夜浸メヨク洗ヒテ
又生ナル大豆ヲ打ク冬キテ水ニスリタ
テ其汁ニ一夜浸シセテ又酒ニ一夜
多其後子清水ニテ洗ヒ淨メ日ニ乾
シテ焙リ用ユ又説ニ酒ニ洗ヒ其
後黒豆ノ煮汁ニテ之ヲ洗ヒ使ト也
和名一ニト云々多キニ似タル

大豆黄卷 大豆ノ皮ヲ去リ生出
タル時ニ採テ豆ヲ去リ生出
糲米 糲米ノ事也

蓮葉 蓮華心セシメスノ花ノ心
ノ事也

蓮肉 ハスノ實ナリ打碎キ皮ト心
膜トヲ去リ卒ト炒テ用ユ炒ス
トモ苦カラス

蓮房 ハスノ實又ケカラ也キサ
ニタカ

蓮翹 一名異翹 一名蘭花 一名
折根 一名六韜 一名三廉 大山ノ
山谷ニ生ス八月ニ採テ陰乾ニ其
ミ使フルヲ忌ム 和名イタチハセイ
タチク弁

羚羊角 カモシノ角也サタニテラロシ
粉藥ニシテ藥中ニ入レヨ切メヨリ風ノ
ヒカマヤウニ置シ火ヲ息



續隨子 一名抱冬 一名千金子 製

法 箱ニ入テ上ヨリ極ヲ以テオレモ

又 上皮脱スル也 皮ヲヒステ 實ヲ

ツリ研ノ紙ニ包ニ上ヨリオリ油ヲ

取テ用

鼠尾草 和名ニソキノ事也キサニ

烈

續斷 一名龍豆 一名屬折 一名接

骨 一名南草 一名只槐 和名 ヲテヤ

カスニクリ俗ヲニアサニト也 説ニ

常ニ食スルア三ノ葉ノ事也 七月ニ

採テ陰乾ニシテ洗ヒ日ニ干割ニ

炎ル

側柏子 側柏仁 柏子仁ニナトニ回レ

日本ノククノ實 又日本ノ

白檀トモ云ラ

側柏葉 即チ葉ナリ北ヘサレタル

葉ヲ採テ日ニ干炙リ用ユ

蘇香油 常ニ調置六雨水ニ入テヲ

ク也 水ナケテ乾キテアヒ合藥ヲ合

セ前ニ水ヲステ温カク煉蜜ヲ合

能カキアハ共新キ絹ニテ蒸ラヨスヤ

ウニ纏ノ藥中ニ入ヨ

酢漿草 一名鳩酸草 一名醋母草

和名 スイモノ草ノ事ナリ 味酸四五

月ニ取テ陰乾ニス

葱子 ヒキモレノ實也

葱白 即チ根ノ白ニ也

律

通草 一名附子支 一名丁翁一

名入通曉木 和名アケヒツルノ事也
枝ヲ通草ト云ヒ根ニ近キ莖ヲ木通
ト云フ皮ト筋トヲ去テ坐ニテス

良

藍葉 アキノ葉ナリ日ニ干テ碎キ

茶臼ニ包キ細ニ用テ火ヲ忌

藍玉 ムシ屋ニ使フアキノ也打枝

クタクキ能ク用テ火ヲ忌

雷丸 一名六雷矢 一名六雷實唐ヨリ

來ル也竹ノ根ニ丸ト也唐本ノ註

ニ云ク竹ノ根也ト狀カクノ貝母ニ似

タリ打破テ中ノ白キヲ用テ赤

キヲ用テハカラス入ヲ殺ストアリ雷

公カ云打破テ中草水ニ浸レ上ノ

黒皮ヲ去テ銅刀ニ刮ク坐ニテ又其

草湯ニテ蒸ス一巳ノ少時ニ至ル

サテ日ニ干又酒ニ浸メ煎ノ如ク蒸

テ日ニカハラカシ用テ也方ニ依テ黒

皮ヲ去リ其ノ使フニモアリ今常

ニ藥屋ニ雷丸ト云テ賣ハ大楓子ナ

リ誤リ用ハカス

狼毒 一名只續毒麴ヨリ來ル也陳

ノ木ニ沈ム者ヲ取トス日本ニム

一ツナキト云草ノ根ナリト云又一

本ニヤクサ葉ハ商陸 及ヒ大黃ニ

似テ莖葉ノ上一モアリ根ノ皮黃

色ニ肉白トシ八月ニ採テ陰乾ニス

貫若子 一名只續唐一名只續唐五

月ニ實ヲ取ルト也和名ヲネニルカ

ヲニルカ一説ニ今日本ニ云フタハコノ

實也上云

蘭草 一名水香 和名アキカユ

海溪云クム人レラス即チ是澤

蘭ナリト四五月ニ採ル

絡石 一名石鏡 一名石蹠 一名略

石 一名八明石 一名八領石 一名八懸石

石ニトヒテ生スル也正月ノ間ニ

上ル葉ト莖トヲ用ニ鹿布ニテ毛ヲ

拭ニ去テ其中湯ニ浸シ洗出テ日ニ

水ス



鬱金 一名忘其 一名解子トイフ

王方ニ依テ少シク使テ事モアリ

薑黄ノ條下ニ記シ余我述姜黄鬱

金ノ三種ハ物也 記ハ誤レリ本

草ヲ考ヘ見ル各別ナ

曲香子 和名クレオモ三月ニ葉ヲ

生レ五月ノ時分ニ長三四尺七月ニ

黄ナル花サク九月ニ實ヲ採テ陰

乾ニス大茴香ハ日本ニナレ唐ヨリ來

ル也ウ羊ノ實ニ似テ少シ大キ也

烏藥 一名八房花其ニ製ニ使フ

禹餘糧 海池中或ハ池澤ノ中

ノヒナト生スト日本ニ至太宰府

ニアルト也

烏梅 一名青モ時ニ取ルニニ薰

テ乾棧ラ去テ製ニ用ユ

雲母 一名雲珠 一名雲華 一名

雲英 一名雲液 一名雲砂 一名

石和名キマク日本ニアリ陸奥國大

和國參河國トモアルト也二月ニ
取レ清白ニ氷ノ如クナル者ヲ上ト
ス製法ハ色々多ケレトモムテキラシ
ニ水ニテ洗サレテ賣ラ其ミ使フ
烏頭一附子條下ニ註ス烏塚天雄
側字ニテ同類也

烏雄雞肉 黒キハトリノ肉也
烏賊魚骨 イカノ骨也裏ノ骨ヲカチ
ルカチヨリテ研テ水ニイサセテ上ス
ミラ捨テ日ニ下テ使フ又焼テ使
フ事モアリ

雲實 一名ハ負石 一名ハ雲英 一名
八天豆 和名ハサキ十月ニ採テ
暴レ乾カス

烏蛇 骨ト皮トサシ酒ニ浸シ
テ丸散ニ入レ用ユ

烏蛇退 一ヒノキ又也製法右ニ同

腰脂 龍腦ノ事也

鶴虱 和名イノリ草ノ實ナリソト
炒テ使フ

黃草 カリヤスノ事也

胡醬 和名ニタヒワタニ雷公カニガ
凡ソ採得テ刀ヲ以テ上ノ龜皮ヲ
ナヅリ去テ生姜ノ自然汁ニカキマセ
テ蒸テ一日サテ日ニ暴レ干用ユ

瓜樓根 栝蒌根トモ書 一名ハ地
萸 一名ハ果臝 一名ハ天瓜 各澤
姑 和名カスウリノ根也土ニ入ル深

和名カスウリノ根也土ニ入ル深

和名カスウリノ根也土ニ入ル深

和名カスウリノ根也土ニ入ル深

和名カスウリノ根也土ニ入ル深

キ者佳ナリ八月ニ取テ自蒸干ス製
法全氣ヲ洗フ白水ニ一夜浸シ蘆
頭ト上皮トヲ去テ割ニ日ニ干ス
鐵氣ヲ忌ム蒸葉ハ中熱ヲ療レ
暑ヲヤブル

必横實 枯葉仁上ニ同レカラスヨリ
ノ實也九月十月ニトル皮ト穢トヲ去
テ日ニ干ス土炭ニテ少シ炒末用ニ鐵
ヲ忌ム

瞿麥 一名ハ巨句麥 一名ハ大菊 一名ハ
大蘭 和名ハ河原トアレユノ實也
藥穀ヲ用ユ蒸葉ヲハ用ユハカラス蒸
穀ハ割ニ三實ハ其ハ用

苦參 一名ハ水槐 一名ハ苦蕒 一名ハ地
槐 一名ハ菀槐 一名ハ駱槐 一名ハ白蕒

一名ハ鹿麻 一名ハ冬葉 一名ハ採白
一名ハ陵即 和名ハタラノイリクサ三月ト
八月ニ根ヲ採集 乾カス至テ親ヲ洗ヒ日ニ
干米泔ニ一夜ヒタレ割ニ乾テ焙ル鐵
ヲ忌ム

款冬花 一名ハ紫吾 一名ハ顯凍 一名
虎鬚 一名ハ羌萎 一名ハ氏和フキ
トツ雪ノ中ニ花ツホニタル時採テ
用ユ花ノツホニ餘ニ小サキヲトク
性弱シ又華開ヒテトレハ藥性ニ
ナ失テ弱シイメタ花ノ開カサハ前
ニ取テ花ヲ包ニタル上ノ皮ト花ノ
中ノ心ト蒸葉トヲ去テ陰乾ニレ
鐵ニ用ユ

貫衆 一名ハ貫節 一名ハ貫葉 一名ハ

百頭一名虎卷一名扁府一名伯
薄一名八藥藻和名ヲラヒノ根又

云セニイノ根也二八月ニ根ヲ取テ

陰乾^{カトキ}ト^{ツキ}土氣ヲ洗^ヒヒ蓋頭ヲ去^リ白

水ニ一夜浸^シレ^テ剉^リ用^テ圖^ニ經^ニ云

黃^ナ狗脊^{クセキ}ニ似^{タリ}枝多^ク花^{アル}モ

春^ノ苗^ヲ生^ス狀^チ蕺^ノ如^シ葉^大キ

ニ又^リ綠色^{ナリ}莖^三角^ニ又^リ根^ノ色^黒ク

紫^也也三月ニ根ヲト^ル上^リ

蜜^薑ハ^ニカ^ニ古^根也

官^桂肉^桂ノ異^名也本草ニ云ク嫩

キ枝^ノ皮^ヲ肉^桂ト名^クモタル枝^ノ

カ^ソ多^ク桂^枝ト名^ク又^ハ木^桂トモ大^桂

トモ名^ク肉^厚キ者^能ク上^ノ鹿^皮

ヲ削^リ去^テ使^フヲ^桂心^ト名^ク已^上

三種^ハ皆^同類^也イ^ノ毛^鹿皮^ヲ

削^リ去^テキ^サ三^用火^ヲイ^ム

藕^莖一名^ハ水^芝用^ニ名^ハ蓮^ハ子^根

也八月ニト^ル

藕^節ス^ノ根^ノス^レ也

藕^汁ス^ノ根^ノス^レ也

藕^皮ス^ノ根^ノ皮^ノ事^也

藕^實ス^ノ三^也即^チ千^蓮肉^也

瓜^蒂カラ^リノ^ホソ^也七月七日ニト^ル

テ陰^乾ニ^ス

槐^實和^名エ^シレ^ユノ^木ノ^實也七月

七日ニ採^テカ^ワ去^リ用^ユ又^ハ本草ニ

云^ク十月上^ノ巳^ノ日^ニ是^ヲ取^テ服^ス

六百病^ヲ去^リ長^生神^ニ通^スト

槐^枝同^ク木^ノエ^タ也

槐木皮 同ク木ノ皮ナリ
槐根白皮 同ク根ノカハ也鹿皮ヲサ
リ割ム

槐葉 同ク木ノ葉也

槐膠 同ク木ノヤニ也

槐花 同クエビノ花也四五月ニ花
開ク也

枸杞 一名只杞根一名只地骨一名只
杞子一名只地輔一名只羊乳一名只杞
暑一名只仙人杖一名只西王母杖。圖

經三多正月上ノ寅ノ日并二十月
上ノ子ノ日二根ヲ採三月上ノ辰ノ
日二葉ヲ上ノ五月上ノ午ノ日二葉ヲ
上ノ七月上ノ申ノ日二花ヲ上ノ九月
上ノ戌ノ日二實ヲ上ノ又ニ云其實ヲ

形長ク枝ニ棘ナキハ真ノ枸杞也
其實ノ形上ノ圓ノ枝ニ棘アル者ヲ
枸杞ト名ク云根ノ皮多ク即地骨
皮ト云製法公前ニ記ス又云根ハ多
ク上ノ葉ハ春夏ニ上ノ葉實ハ秋取
リ陰乾ス

薰陸香 アツカニテ緩クツミ打碎
キテ其ノ使フ火ヲ思

麝香 先水ニ浸シ新キ布袋ニミ
リ入テ土石ヲ去テ又清キ水ヲ以テ
袋トモミ三洗ヒ日ニ乾レキサ三冊
水ヲイム

花藥石 燒テ使フ

狗脊 唐ヨリ來ル也毛ヲ削リ炒テ
細ニキカ三酒ニカキセ蒸ム用ユハシ

細ニキカ三酒ニカキセ蒸ム用ユハシ

細ニキカ三酒ニカキセ蒸ム用ユハシ

細ニキカ三酒ニカキセ蒸ム用ユハシ

細ニキカ三酒ニカキセ蒸ム用ユハシ

細ニキカ三酒ニカキセ蒸ム用ユハシ

細ニキカ三酒ニカキセ蒸ム用ユハシ

同ク毛ハ血ノ止ニナリ付テヨリ日本
ニハクイヌワラヒノ根也ト云フ又一説
ニ山ワラヒノ根也トモ云フ未詳カト
ス

苦棟根皮 和名アケチノ木ノ根ノカ

ワ也毎ク生スル木ノ根ヲ用テ膏ヲ
生セヌ木ノ根ヲ用テ吐逆スルナリ

麩ハサレタル根ヲ用テハ又木ノ皮ヲ

モ用ユル事アリ

苦棟子 又金鈴子トモ云即チク

ノ木ノ實也日ニ于酒ニ浸テ皮ト

核トシテ去テ肉ヲ用ユ

萱草 一名ハ鹿葱 和名ウヅマキ

瓦粉 ブルキカワラノ事也碎キ細ニテ

使ラ

和名カタツリノ事也

一名ハ液石 一名ハ共石 一名ハ

番石 和名アノヒヤク日本ニテハ細

アルト也水ニ似テ白青色トシテ

也ト水ニテ洗ヒ晒シ乾ク番石ト云

青黒色ナルヲ用ル事トカヒ人ヲ殺

スト云山谷及ヒ大山ノ陰ニ生スル

和名アラメノ事也

滑石

和名アラメノ事也

和名集并異名製劑記卷之下

也

益母草

益母草

和名スレキク弁 異名 益母

子ノ下ニ註ス。五月五日ニ採ニ陰乾ニ

メ銅鐵ヲイム木ノ藥研ニテタ只ス。又ハ

日ニ乾少シ焙リテモ用ニ或ハ黒燒ニ

又産後ノ血暈ニ童便ニテ與フ

益智子 唐ヨリ來ル也。上皮ヲ去碎

テ少シ炒布ニ包ミテモミ好ラ取テ

研ニ使フ

楊梅 和名ヤメモノ軒也。五月取

射干 一名ハ鳥扇。一名ハ鳥蒲。一名

鳥翳。一名ハ鳥啞。名ハ草姜。和カラス

アキト云フ軒ノ根也。イキハツニ似テ

黄色ナル花也。川谷田野ニ生ス。三月

三日ニ根ヲ採テ土氣ヲ洗ヒ蘆頭ヲ
去リ日乾米泔ニ浸シ餅ニ又日ニ于テ
ス



麻黄 一名八車樹 一名龍沙 一名八車

鹽 和名カツ子クキカノナ 或ハ秋ニ採テ

陰乾ニス上製法ハ白水浸シ洗ヒ上

ニ銅刀ニテ節ヲ去リ割ニ水ニテ煮テ

俾ヘテ多以テ上ノ沫ヲ去リ盡シ漉出

レ日ニ乾焙リ用ニ沫モレ盡サレテ服

スルハ人ヲレテ悶セシム

蔓荊子 和名ハニヒヒミツキトモ云テ

瀝ニ生ス近江ノ國ナトニモアリ葉ハ

ツキキノ葉ニ似テアツク和ラカニウラハ

霜ノ降リタル様ニソス白シ紫色ノ花サ

クツルニ似テツルモナシ九月ニ實ヲ取テ

酒ニ蒸テ乾レ使フ

麻仁 アサ實也上皮ヲ去リ炒テ研キ

ニ用ス

萬木蠶 マチン事也ス湯ニ浸シ上

皮ヲツケ去テ銅刀ニソウスク坐ニ木

藥研ニテレメリ内ニラズ。サテケレハ

研ケカスル者也又サテテモモス少

研ケカスル者也又サテテモモス少



卷栢 日本ニ岩ヒハト云ス一名ハ萬

歲ニ各ハ豹足各名未取。一名ハ交

時五月七月ニ採ニ陰乾ニシテ判ニ

炒テ使フ

假蘇 一名荊芥葉ノニ使フ三

月三日ニ種ヲマイテ七八月ニホリテ

實熟ス時ニ取テ陰乾ス

荊瀝 荊芥ノ上ニナル葉ヲモミ其汁

ヲ煎シ藥ノ中ニ入レドモ葉ナキ時ハ

荊芥ノホヲ藥種ノ中ニ入ル

雞蕪 薄荷ノ香ノ白キヲ云フ。香ノ

ナキハハツカト云フ

雞腸草 公ニノ事也

雞冠子 ケイトウケノ實也炒テ解ユ

又雞冠花ハケイトウケノ花也キハ

ニ及ル

玄參 一名ハ重臺一名ハ鹿腸一名正

馬一名ハ威一名ハ端三四月ニ根ヲ取

テ暴干ス日本木曾ノ山中ニアリ上云

ス採得テ土氣ヲ去シ蒸テ日ニ曬干

ス磨リ來ル角堅ク黒キ者佳也

焙テ用ユ

玄胡索 本名ハ延胡索也其ニキヤ

三使

决明子 日本ニテハカウ草ト云草ノ

實也十月十日ニ取テ陰乾ニス其ミ

碎テ用ユ

雞舌香 日本ニテハシラロス火ヲ

忌ニ説ニ日本ノ桃ノヤニナリト云フ

未審カラス代藥ニ使事アル歟

桂枝 内桂ノ枝ノカヲ也上皮ヲ削

リキヤ用テ火ヲイム

牙皂角 又猪牙皂角トモニ猪ノ牙

ニ似タル故ニ云又皂莢トモ云フ日

本ニテハサカレト云フ木ノ實也

九十月ニ下ル中ニソルト草ト云テ銅

カチニヨカキナニ乾シ炙リ用ユ
刀ニテ細ク切リ三日ニ乾シ炙リ用ユ
雞頭實 日本ニテハ少クニキノ實也
上カク多ク去テ炒ル

不

附子 八月上旬ニトク用ユ其熱灰ニテ
炮シ過ス事ナカレ雷ハ分クヨク使
フニハ角九者ヲ用ユトアリ陳力云ク
八角ナク冬月ニ採ラ附子トレ春ト
レラ烏頭トス文武ノ火ノ中ニテ炮
ノ皮臍ヲ去テキサニ用ユ

澤萍 水萍ノ事ナリ水萍ノ下ニ
具ニ記ス

浮麥 コムキノカス也炒ル

燕夷仁 一名ハ燕薺三月ニ實ヲ採
テ陰乾ニス少ク炒テ用ユ唐本ノ注

ニ云ク爾雅ニ云ク一名ハ燕薺今ハ薺
薺ト名クルハ字ノ誤リ也

覆盆子 日本イナコノ事ナリ蓬蘽
ト同レ物異名ト云但蓬蘽ハ根ナ

リ覆盆實ナリ孟詵云ク蓬蘽實
子味ニ酸五月ニ麥田ノ中ニ於テ得ル

茯苓 大山ナトク大松ノ根ニ生スニ
月ニ取テ陰乾ニス黒キ皮ヲケツリ

去テキサニ細テ水ヘテ浮テ物ヲ捨
テ日ニ干シ少ク炒リ用ユ

茯苓 是モ松ノ根ニテリ但シ茯苓ハ
根貫キテアリ製法ハ茯苓ト同レ

古

五味子 一名ハ會及冬一名玄及日本
ニテハサ子カツラノ實也八月ニ實ヲ

採テ陰乾ニス鹿皮ヲ去酒ニ浸シ蒸
ニ又日ニホレイシテ研ス鐵ヲイム

胡黃連 一名只割孤日本ニハタウヤ
多ク用ニ採ニ時ナレトアリ然トモ七
月ニ花サク八月ニ取也其ニ使フ膏
ヨリ來ル物ノ根ナリ地黄ノ如クヲ
味ニ苦シ

虎杖根 一名只苦杖日本ニテイタ
リ根也圖經曰ク虎杖一名八枯

枝ト云ラス處々ニ是アリ三月ニ
苗莖ヲ生ス作テ子狀ノ如クスウニ
赤班ノ點アリ初テ生スニ便チ枝
ヲ分ツ葉少杏ノ葉ニ似タリ七月ニ
花ヒラク九月ニ實ヲ結之八月ニ根
ヲ取テ日ニ干

胡蘆巴 圖經ニ曰ク春苗ヲ生レ夏

實ヲ結ニサヤヲチス秋ニ至テ取テ
イリ未ニ用テト也

胡桃實 久ニテ事

吳茱萸 一名只藪日本ニモアリ九

月九日ニ採テ陰乾ニス凡使ニ其ミ
湯ニテ能洗ヒテ汁ヲスル事七

度ノ核ヲ去日ニホレ炒雷公方傳
ニ葉核并ニ雜物ヲ去テ鹽水ニテ

洗フ事百度ノ日ニホレ葉更十兩ニ
鹽二兩ヲ用テ研末ノ東流水ニテ

投レ用テ天ニ効アリ

穀精草 二三月ニ穀ヲ田中ニ於テ
取ル一名只戴星草花白フン少シ
圓ク星ニ似タリ故ニ此各アルニ時

華子カニク饒タル馬ニ飼テ肥圖
經三日今鬼大ニ百アリ春穀ヲ田中
ニ生ス葉幹俱ニ青ク根華并ニ白
シニ三月ノ内ニ花ヲツテ用テ又一種
アリ莖梗長ク節アリ根微シ赤
レ古方稀ニ用テ今齒ノ藥ニ多ク是ヲ
使フ陳藏器カ云ク味ヒ甘ク平馬
ノ藥ニ入用テ花白ク葉細ナリ

半膝 一名八百倍日本イノツキト云ラ
草ノ根也二月根ヲ取テ陰乾ニ
ス土氣ヲ洗ヒ蘆頭ヲ去リ日ニ干酒
浸シ又ロニホシ焙リ用テ

厚朴 一名公厚皮一名公赤朴一名淡
白日本ホウノ木ノ皮也三九月ニ皮ヲ
トシテ陰乾ニスイカニ毛厚ヲ用テ白水ニ

一夜ヒタノ上カワラ削リ去テツク對
三執湯ニ浸シテ六リヲモミ洗ヒ生薑ノ
汁ニミタシ白ニ干能ク炒テシロシ用テ番
公カ云ク紫色ニ味ヒ辛キヲ好トス
丸散ニ餘皮ヲ去テ醋ヲ用テ製
シテ用テ過シ使ス湯藥ニ生薑ノ白
然汁ニミタシ炙リ用テ

桔梗 明礬ノ燒タルシ云ラ
胡桐 胡桐木ト云木ノヤニナリ其

葉初メテ生ス事柳ノ葉ニ似タリ漸
ク大ニナレ則チ葉桐十トニ似タル其
津液地中ニ入テ大石ニ相著ク冬ノ月
ニ採ル狀チ黃礬ノ如ク味ヒ極メ
テ鹹ク苦シ此藥リテ水ニ入テ見レ
即消テナレ

胡椒 海藥ニ云ク陰ニ向フ者ヲ薑澄
茄ト云陽ニ向フ者ヲ胡椒ト云フ用
ルツキ碎キ粉トナス

五倍子 一名八支蛤 一名八百蟲 倉日
本ヌルテノ和ノ實也 即チコレノ事ナ
リ九月ニ採テ陰乾ニス内ニ蟲クク多ク
能ハライ捨テ細ニ用ユ

胡麻 酒ニタレ九度ムシテ其後炒テ
使フ烏麻ト云フ黒三ノ事

殺羊角 良護ニ云ク大ニナルヒツシノ角
ナリ。ツシモ大キナリ 紙羊角トハ男ト
シノ角也 此説未審ナラズ一説ニヤギ
ツノ角ナリト云フ升スニテラロレ使フ
蜈蚣 △カテノ事ナリ雷公カ云ク手足
ノ魚ヲ用テナカト頭上ニ白肉アリ

面并ニ密ニ火也 若誤テ用ク腥
臭ノ氣有ニ入テ死ヲ致ス 柳ノ木ニサ
レハサニ土器ノ中ニテイル木焦レ黒
色ニナリテ後木ヲ去テ刀ニテ足ト甲
ヲ去テ用ニ説ニ酒ニ一夜浸シ 三
日ルト云フ方ニヨルヘシ

鹿骨 并鹿肉 微火ノ上ニテ焙リ乾シ
搗テ粉トナシテ製藥ノ内ニ入

用テトナリ
兎脛骨 兎ノ子ノ骨也ト云フ 醋

ニヒタシ火ノ上ニテ直ニヤキ使フ
牛黄 雷公カ論ニ四件アリ其第三

牛ノ角ノ間ニテリ是ヲサキワツテ
其黄濃ヲトツテ 庵ナ水中ニ收メ 氷
ヲメ其ヲ使フトアリ 或説ニ牛ニ人參

ヲ飼テ天日ニ晒テ其ヨガヲウケテ
百日陰乾ニ用ユトナリ日本ニテハ
採事ナレ唐ヨリ來ルヲ其ニ研テ
使フ

骨碎補 一名石菴蘭 一名骨碎

布 雷公公云ク凡採得テ銅刀ヲ用

テ上ノ黄赤ノ毛ヲ削リ盡シ細ニ切

テ酒ニ拌セケルホサシメテ柳甑ニテ

蒸ス事一日ノ後暴レ乾シ用ユ又蜜

ニカキニせ蒸事モナリ
紅藍花 一名金黃藍即千紅花也日

本ノハニテ轉ノ事ナリ炒テ用ユ又生

ニテモ用ハフモアリ實モイッテ使フ産

後ノ中風煩渴ニ用ユル方アリ
紅糖 一ニカスノ事也

半房子 一名鼠粘子 一名大分子

黒參 玄參ノ事ナリ

黒衣 ウツリニタマリタスノ事

黒錫 名ナリノ事ナリ

天門冬 一名天門冬 日本ニ昔中ノ

根也ト云フ藥屋ニ昔日定テ賣ト

見ヘタリ是ニテハアルニキ也天門冬

本草タチモ葉毛別ナリ本草ヲ見

テ知ル間記ス及ハスニ三七八月ニ根

ヲ採テ暴乾又云白水ニ浸シ土氣

ヲ洗ヒ四ツノサイト心ヲ去リ蒸テ日

ニ于テアクリ用ユ

抵羊角 千ノサキ身ヒツシ也ト角モ

千イサレ。色モ殺羊角ト別也ヤスリ

ニテラロレ使フ

葶藶 一名ハ葶藶 一名ハ葶藶 一名ハ葶藶 一名ハ葶藶

名ハ大室。一名ハ大適。日本ヲトコナツ

ナク實ノフ也。平澤及田野ニ多ク

生ス。立夏ノ後實ヲ採テ陰乾ニス。雷

公方云ク凡使ス赤鬚子ヲ用ルナ

カレ。真ニ葶藶子ニ相似タリ。製スル

糯米ト相合レ焙テ米熟スルヲ待テ

米ヲ去單ニ搗テ用テ。説ニ紙ヲ鍋ニ

キテ炒テ用ユト

天南星 日本ニモアル。葉ニニヤクイモノ

ニ似タリ。八月ニ取ル。圖經ニ云ク二月

ニ苗ヲ生スルニ莖荷ノ梗ニ似タリ。莖

高キ事一尺ガリ。末ニ葉アリ

相抱テ生ス。五月ニ花サケ黄色ナリ

七月ニ實ヲ結テ穂ヲナス。石榴子ニ

似テ紅色アリ。根芋ニ似テ圓シ。六

月ニ根ヲトル能ク。莖弱ノ根ト相

繋ス。人多ク恨テ是ヲトル。莖ハ莖

マダラニシテ花紫色也。コニマタイモノ

也。説ニ天南星本草所説ノ如ク

即チ虎掌也。小ナル者ヲ由踐ト爲

ス。後人採用テ即チ一名ヲメツルニ

南星毒アル故ニ生薑ニテ製ス。又

炮ノ製ニ用ユ

天花粉 カラスウリノ根ノ事ナリ。多キ

碎キ水ニイサセテクハズミラ捨テ二日

ニ干タリ用ユ

天仙藤 日本ニテ生木香ノツル也。飯

上二置△レテ坐△リ用ユ
天麻 其△ニ坐△テ用ユ痘疹ニモ
其△ニ使フ也方ニ依テ紙ニス三酒

フシメレ炮レテ用ユ
天雄 其△ノ皮△大△去△キ△細△シ

用ユ
釣藤鈎 元也日本ニモ紀△ニテ

ト云フ
阿魏 雷△公△論ニ先△淨△鉢△ノ中△ニ

イテ研△テ熱△酒△ニ製△シ藥△ノ中△ニ
入レ用ユト又云△コ△ム△キ△ノ粉△ニ△リ△合△セ△

ニレ大△丹△錢△木△ト△シ△能△及△リ△麩△モ△共△
ニ其△ニ使△ス△鳥△モ△ナ△ノ如△ニ△ル△ル△ク

息△手△物△也△又△ナ△ダ△ナ△ノ實△ノ△ヤ△シ△テ

是△最△佳△ナ△リ△製△ス△ル△事△ハ△前△二△同△レ

又△酢△ニ△テ煮△ホ△レ△テ使△フト△モ△云△フ

阿前藥 百△藥△煎△上△三△同△火△ヲ△息△

安息香 卒△上△研△テ砂△石△ヲ△去△テ酒△

ニテ煮△火△布△ニ△テ△コ△世△六△砂△布△ニ△留△ル△

安息△酒△ト△シ△レ△テ△ト△ラ△ル△也△其△後△
又△煉△テ△使△フ△

阿膠 日本ニ云△ニカ△ワ△ノ事△也△本△草△

ニ云△ク△乾△牛△皮△ヲ△用△テ△作△マ△ト△アリ△膏△
ヨリ△來△ル△細△二△割△三△炒△テ△用△

酸棗仁 日本ニ云△ナ△フ△レ△ロ△ク△ミ△ノ實△也
ト△八△月△ニ△實△ヲ△採△テ△陰△乾△テ△即△酸△
棗△ノ△葉△ヲ△煎△ニ△レ△キ△半△日△カ△リ△蒸△テ△

和名 下

皮尖ヲ去テ日ニホシシヨレ用ユ

乘西示 一名ハ蝕胎クワク木ノ枝

ニ生ツケタカミキリノ子ナリニ三月

ニ採テ鑄ノ中ニテ熬テ用ユ餘ノ木

ニモアレトモ不用藥ニレシナシ

乘茸 一名ハ乘菌一名ハ木來クワ

ノ木ノクセラ也坐三灸テ用ユ今藥

屋ニ乘寄生ト云テ賣ハ比目コレト

見ヘタリ

乘白皮 クワノ木ノ根ノカワ也去中

へ深ク入テ東ヘサレタル根ノ皮尤モ佳

ナリ土氣ヲ洗ヒ上ノ黄ナル皮ヲケ

リ去テ白キ麩ヲ取テ判三焙テ用ユ

土ノ上へ出タ根ノカワヲ用ユヘカラス

人シヨロストアリ鐵氣ヲ忌クワノ藥

ハ根ノ毒ヲ解ス

又寄生 クワノ木ノヤドリ木ノ事也

判三灸テ用ユ代藥ニ升麻ヲ用ユト

又ハ乘茸ヲモ上皮ヲサリ使フト也

蒼耳 日本ニ云オナモミノ事ナリ實

ヲ使ユ六炒リ焦ノ用ユ

蠶布 カイユラカ時下ニレキタ紙

ノ事ナリ灸テ判三使フ

犀角 ワリテミルニハ方トモニサセイ

タメアラハ別ノ角ト知ヘレ鳥犀角ト

云フハ色黒シガタニテ名ニ使

酸榴皮 スミヤクロノ實ノカワ也ヨ水

ニ浸レ裏ノカワヲ去判アル

柴胡 一名ハ山菜一名ハ茹草葉一名ハ

芸蒿日本ニ云ガモシヤト云草ノ根

也ト又野カシタウトモ云フ華白クウ
スアカキハ是白柴胡ナル又河原柴
胡ト云黄白色ナル華サキニ根紫
色ナリ河原ニ多クアル物也ノセリト云
ナリ薑頭ヲ去リ白水ニヒタシ土氣ヲ
洗キサニ日ニ乾用ユ火ヲ忌

皂角刺 サイカクシノクリ也炒未ク使
フ丹皂角ケク字ノ麩ニ具ニ記ス

山慈菘 ニンジュレヤケノ根也ホウシキ
ノ根ヲ使フスモアル本草ニ云ク葉

ハ重前ニ似タリ根慈菘ノ如レトア
リ然ル則ニニンジュレヤケニテモナキカ審
ナラヌ

酸漿草 傾ノ和名ニ云ク蒨名乾ニ云
酸漿水一名六洛神珠 保命草

山施子 日本ニ云フクナレノ事也仁ノ
心腹ノ熱ヲサリ皮表ノ熱ヲ去ル薑

頭ヲ去テ坐三焙ル又ハ酒ニテ子分ヲ
洗ヒ捨テ日ニ乾灸使膏公カ云 類ノ子

坐者ヲ用ル事ナカレ 瓠ノ伏尸ト云ラ 施
子ニカナル雀卵ノ如クニノ形頸長ク赤色

ナルトス

山茱萸 一名八蜀藟 一名八雞足 一名
八魁實 枝ヲ去リ炒テ用テ代藥ニ日

本ノナハロクニテ葉ノ如クニ蒸テ枝ノ
中ノ實ヲ去テ使フト云フ説アリ

草烏頭 炮ノ皮ヲ去テ割

細辛 一名小辛 日本ニルハ葉タウ
イモノ葉ニ似テ小ク葉紫白色ナリ

根一本ヨリ三葉四葉ノ出ル也葉ノ

内ニ少ク之文アリニ八月ニ根ヲ採テ陰
乾ニス土氣ヲ洗テ頭ヲ去テ白木ニ
夜ニタシ剉用ユ

蒼木 日本ニ云オケニ事ナリ若根
ヲ蒼木ト云ニ古根ヲ白木ト云但シ

時形ニニルヘキカニ三月ニ採ルヲ蒼木
ト云ハ九月ニ取テ白木ト云テカ製
法ハ白木ノ下ニ記ス

山藥 日本ニ云ヤマイモノ事也冬形ニ
採蒸シ乾テ用ニ具ニ書テ下ニ記ス

山參子 ワセノ實也炒テ用ユ
カイクノ屎ナリ

唐ヨリ來ル也草菓ノ皮ニ似
テ中ノ實ハ縮砂ヨリ小シ大キナリ
布ニ包ミモミアカテ取テ炒テラロス

京三稜 一名ハ削堅中尉日本スケ
ノ根也根ヲトツテ土氣ヲ洗ヒモラ
去リ醋ニテ煮テ剉三日ニホシ炙
リ用ユ

金沸草 セシク花イフ也未詳ナラ
蓋黃 莖沫ノ中ニアリ若根ノ細ヲ
羨其長ト云フ其次ヲ鬱金ト云ニ古

根ヲ我木ト云フ何モ一類也葉青
緑ニ長キ事一二尺ハカリ瀾キ
二三寸斜ニ文アリ花紅白色ナリ

取ニ時ナシト又云八月ニ根ヲトリ片
ニ切テ暴シテ干レ炒テ用ユ

桔梗 一名、利女一名、房圓 一名

八白藥 一名、八梗草、日本ニ多クアリ

二八月ニ根ヲ取テ暴乾ス上ニ氣ヲ洗

ニ白水ニ二宿シ蘆頭ヲ去リ對三日ニ

乾アフリ用ユ

枳殼 和名カラダチノ木ノ實也キ

ニクト枳實ト同物ナリ但キシツハ

小ク五月キ時ニ採ギニ久熟シ是ヲ取

テ凡製ス凡テ白水ニミタレ裏ノ核ト

幕トテ去テ對示麥ノアラ皮ニカキ

セモニ合セ炒シ其後麥ノアラ皮ヲ敷

ステハラリス、キレツモ製スル事コレニ同レ

騾馬嶋 日本ニテハアノゴ馬ノ血ヲ使

フ唐ハ木ノヤニナリ松脂ナリ如ニ木ヨ

リ流シ出ル液ナリ本草木部ノ中

ニアリ。雷公カ云ク凡使フニ先研テ粉

トナシテ篩テ使フ衆藥ト同ノ嚙化

スルヲナカシ飛テ塵トナル也

櫛櫨 二方ノサ子也イッテ用

橘紅 陳皮ト同シ

杏仁 和名カラモ、ノ核ノ中ノミ也俗

アシストモ云フ五月ニトル雛文トル者

ヲ不用イリテ熱湯ニ浸皮尖ヲ去

テキサ三用ユ

鳩糞 介ノ屎ナリ

葶藶 撫芎上三同レ川芎ノサキハ生

出タル若根ノルキヲ云テ製法ハ川芎

ノ下ニアリ

葵子 冬葵子トモ云フトノ字ヲ篇

ニアリ

金櫻子 和名ニカ子ツル

金牙 日本但馬ノ國上野ノ國ニア

リト 金色ノ如シトアリ

龍甲 一名ハ神屋カワ龍ノコウ也ト

ルニ時ナレ製法ハ龍甲ノ下ニアリ

菊花 一名ハ節花一名ハ日精一名

ハ女節一名ハ女華一名ハ女莖一名

ハ更生一名ハ周盈一名ハ傳延年一名

ハ陰成和漢同シ蓋此紫色ニテ氣

香シタアキヲ用ユクキ青色ニテ

氣モナク味ニ苦キハ用ユヘカラス陰

乾ニストアリ然トモ日ニ干テモ苦

シカラス臍トクキトヲ去テ又ニ黃菊

花ヲ用ユトナリ九月ニ下ル火ヲ息

菊名石 キク花ノヤツナル文ノア

ル石也日本三ノ紀伊國多クノ他

稀莢草 一名ハ火荻 和名 ムナモ三

トニラ 秋黃色トナル華サクナリ五月

五日七月七日九月九日ニ採テ具

干テ酒ニミタシ九度合レ九度曝

テ未トナス

金銀花 スイカヅラ花ナリ陰乾ニテ

使フ恐冬ノ下ニモ記ニテ字ノ篇ニ

アリ



榆白皮 一名ハ零榆 和名 ニレノ木

ノ皮ナリ二月ニ皮ヲ採八月ニ實

ヲトルト也製スルニ上ノ皮ヲ削リ

去テ白キ處ヲ削リ三用ニ日ニホス

柚核 ユノサ子ノ事也イツテ碎キカ

ヲ去ニ用ユ

硫黄 日本ニモ處々ニアリ水飛ノ使フ也

明礬

白礬トモ云ラスキダウカノ

事也日本ニモ飛彈國長門國肥後國阿蘇ノ社ナトモアルト也

燒テ使フ也

綿附 ヤハラカナル附子ノ事也

炭

製法ハミツヲササキニ入レ沸湯ノ中ニオイテ是ヲ煉ニ上ヘ沫多ク物也其沫ヲ去ヘシ蜜十兩ヲ子ツテ八兩ニ至ルヲ度トス但シ蜜ニヨルレト也

蜜陀僧

日本ニモアリト云ラ金銀

タル國ニアルト也ルカスト也其ミ使フ説アリ又柳ノ木ノ中ニアル虫ヲ採テ蟲ノ足ヲ去蜜陀僧ニ交テ東流水ニ浸メ後野ヲサリ蜜陀僧ヲ乾シ用ユ

蘇推

一名ハ糊極サレノ事ナリ郎

ヲ干テ使フ事アリ

磁石

一名ハ玄石一名ハ處石日本ニ

アリ近江國淺井郡鹽津嶋ニ無時ニシテ採ト又意庵宗前ノ白陸奥并ニ備前ノ國ニ有之製法ハ東流水ヲ以テ煮事ニ晝夜サテ流

出レ拭ヒ乾シ布ニ裏三石ノ上ニ置

テ打碎キ細テ乳鉢ニ入レ研テ用ス
紫石英 赤白紫藍色ノ三種アリ土
器ニ入レ火ノ中ニ於テヤク但レ紫石
ニ酢ヲ塗リテヤクテリ又云焼テ後
水ニテ能洗フベシ

赤石脂 日本ニモ太宰府伊豆國
ニアルト也是モ酢ニ浸シテ焼テ
使フ

辰砂 本名六朱砂ナレトモ辰州ヨリ
出ル朱砂佳ナルニ依テ辰ノ字ヲ置
ナリ製法ハ多クテトモ多ク研テ水飛
レ白ニ乾再シテ使フ日本ニテガ
朱ヲ誤テ朱砂ノ代ニ用ユカラス

信石 人言トモ書砒霜ノ事也
秋石 小便所ニ小便ノカダマリタル

シ採テ日ニ干スリ使フ
香木 香山近キ野ニ多シシラハ天仙
藤 云ラク多忌

赤芍薬 一名ハ餘容 一名ハ聖食 一名
解倉 和漢同シ山中ニシラハ花ノカク
ヒトハノヲ用ユ白ハ補ヒ赤ハ瀉ス二ハ
月ニ根ヲ採テ曝乾シ土氣ヲ洗去
テ白水ニヒタシテ刀ヲ上ニ置テ打タキ
蘆頭ヲ去テ石上ニ置テ打タキ

日ニホ焙リ用銅鐵ノ器
紫參 一名ハ牡蒙 一名ハ衆茂 一名ハ
童陽 一名ハ馬行 和名チノハクサ三
月ニ根ヲ採リ用ユ

蛇脫皮 日本ニテハクサチウキヌノ
事也鐵ノ器

事也鐵ノ器

蛇床子 一名只蛇粟 一名只蛇米 一名

八咫林 一名八思益 一名繩毒 一名只

實 實者又ハ父カセリ實ナリトモ云

是ハ田野ニ多シ兼セリノ如クニテ

高サ二三尺アリ。五月ニ白キ花サキ

ニ曲香ニ似ル實アリ是ヲ用ニテ

佳ナリ日ニ干毛ヲ去リ少シイリテ用

一説云ルハレロノ實ハアトナリ

使君子 本ハ四君ト書今ハ使君子

ト云リ皮ヲ去テ炙リ用ユトナリトモ

實ルキ故ニ皮トモニ炒用ユ

車前子 一名ハ當道 一名ハ紫首 一名

八蠟蝶衣 一名ハ牛遺 一名勝鳥

和名オビノ事也實者七月八月ニ

採テ日ニホシテ其ノ用又少シ炒

テモ使フ葉及根ハ五月五日ニ採陰

乾ニラ

蒺藜子 一名只房通 一名只屈人 一

名ハ止行 一名ハ胡豆 一名ハ推

名ハ茨 一名ハヒレノ實也七八月ニ

採テ暴シ乾シ林白ノ中ニ於ニ掃皮

ヲ去リ酒ニ拌セ蒸テ用ユ

紫菀 和漢同 一名ハ桂荏 一名ハ水

卅元葉ハ六月ニ取テ日ニ干テ用ユ火

ヲ思紫蘇子ハ炒ニ使

豫實 和名クマキノ實即トキノ事也

辛夷仁 一名ハ辛知 一名ハ侯桃 一名

房木 和名ユフキノ木ノ實ノ事也九

月ニ採テ暴乾ス雷公云鹿皮并ニ

上ノ赤肉ヲ去テ芭蕉水ニ宿シ漉
出レ又漿水ヲ用テ煮テ一匹ニリ未
時ニ至ルハテ焙乾テ用ト也又ク炒
ニ使フ也花ハ公ニ用ユ

真蘇油 シソノ實ハクマラフ也紫蘇子
ヲ少イリ蒸ニ油ヲレホリ取ナリ

紫葳 一名公陵苕 注云即千零陵華
是也トヨリ日本ニテ公ニカツタ

花ヲ干テ炒テ用ユ花ナク公ニモ
葉ヲモ用ユトナリ

紫葳子 一名益母 一名益明 一名
大札 一名貞蔚 和名メハヒキト

云フ草ノ實ナリ九月ニ採テ暴
乾ス鐵ヲ思ム益母草トアル則

公葉ヲ使フ製法ハヤノ字ノ篇ノ益
母草ノ下ニ記ス

商陸 和名ヤニクウ八月ニ根ヲ採テ
洗クモ氣ヲ洗上勤ニスル又云ク赤ト

白トノ藥性異ナリ赤キハ腫氣ヲ
消ス白キハ水氣ヲ利ス

紫葳 聖ニテイカニモ此多也九者ヨシ
火ジイム

麝香 偽モノ多シ紅ノイトニ麝香
シ塗テ見ニクナイ昔今黄色ト

者ヨシ又云麝香ノ中ニ大豆ノ様
ニカタルタルアリ是ニ各ツケテ當門

子トニテ是尤佳也使フニ中ニ交リ
テアルモノ去テ茶碗ニ入ヨク研テ

藥ニ合ス

縮砂 炒テタフ布ニ包ニテカクテ用

ユ日本ニ三ノ山ハレカニノ實リト云
常山 一名ハ五草日本ニゴクサキ
ト云フ又ハ山ノキサイトモ云八月ニ
根ヲ取テ陰乾ニシ土氣ヲ洗ヒ日ニ
干酒ニ漬シ又日ニ干テ坐ニアスル
蜀漆 即チ常山ノ葉ナリ日ニ赤
シテ坐ム

苜蓿 一名苜蓿陽和漢同シ一寸九
節ナル者ヲ用ユ土ヨリ上ヘアガル根
ヲ露根ト云フ是ヲ用ユベカス八月
十二月ニ根ヲ採テ水ニ浸シ土氣ヲ
洗ヒ陰乾ニシ銅カニ皮毛ヲ削去テ
坐三日ニ干用ユ鐵ヲイム
薯蕷 一名ハ芋玉ニ名ハ山藥和名山
イモ二月ニ根ヲ採テ銅刀ニ皮ヲ削

リ去テ粉ノ粉ヲスリテ日ノマダ多ク
ニ置テ風ヲカセ乾シ坐ム炒熟フツキ
ラク生ニテ乾用ユ又或説ニ冬月ニ取テ
蒸テ暴ニ乾トアリカニ依テ力鐵氣
ヲ取

神麩 六月六日ニ小麥ノコリスモニ
汁ニミテ小サシキギンテ煮トナシ
テイリ用ユ又云ク大唐米ノ飯ニ黒豆
ヲ炒テ粉ニシテ飯ト交カセシ知クム
口ノ中ニカバシテ用ユト也

靛皮 一名大童皮ニカク青キ時ニ剥
テ四ツニリ中ノ縷ヲ去坐ス
脂麻 清油 胡麻油
樟腦 和漢同シ水邊ニ生シタラス
木ノ根ニ大キニカ冬リテアリ其ヲ燒

テ使フ也七度ヤテ龍腦ノ香ガスルノ
樟腦ヲ天目ニ入其ノ上ニ天目ヲ蓋
ニ合セロフ紙ニテ介塞キ火ノ上ニ
置テヤク上ノ天目ニウツリテ丸ヲ
ダ取テ使

秦光 和名トカリ各ハカリ弁ニ八月

ニ根ヲ採テ暴ニ乾ク土氣ヲ洗ヒ蘆

頭ヲ去リ細ニ碎ト焙秘膠ガニ云ク

秦光ナク久代藥ニ乾膏ヲ用ルト也

紫草 一名ハ紫丹一名ハ紫莖ムラサ

キノ根ナリ三月ニ根ヲ採陰乾ニ土

氣ヲ洗ヒ苦頭トモヲ去テ劉ニ

紫苔 トサカノノ事也

紫菜 ムラサキノリ也

秦皮 一名ハ石櫚一名岑皮

和名ト子リコト云フ木ノ皮也二月

カワヲ取テ陰乾ニ白ニ一夜ヒタ

レテ鹿皮ヲ削リ去テキサニ炙ル

秦椒 秦州ヨリ出テ蜀椒ハ蜀國ヨリ

出花椒ハ熟シ色ノ赤キヲ云フ日本

ニテハヤシセト云フ九月ニ實ヲトル

柿蒂 クレキ人々也ヨク洗ヒキサニ

雄黄 東流水ニテ淘洗フ事三度ノ

水ヲ去テ拭ヒ乾シ白ノ中ニテ打ク

貢珠 公ケリ財ノ中ニ入ル至ノ事也製

法ハ將水水ニテ煮ク三晝夜サニ毎

草湯ヲ以テ洗ヒテ白ノ中ニ於テ搗

クタキ細研シテ用ユ

沙参 一名ハ知母 一名ハ菩提 一名ハ志

取 一名ハ鹿鬚 一名ハ白參 一名ハ識

美 一名ハ文布 二月八月ニ根ヲ採テ具悉

ニ乾スト明ニリ。并ニ一官云日本ノ

ツル人參ノ事也ト日本美濃國ニ

此系藤 常ノ藤ノ也根ヲ採テ洗

ヒキサミタスル

此系花 一名ハ此系花 一名ハ昔月花 和ヲ

ニノシククサニ三月ニ根ヲ取テ陰乾

ニス声一頭ヲ去キサミ焙ル

此系花茸 ニラシノキヨリニ三寸生タルト

キ取テ乾シ水ヲ以テ洗テ割ニタスル

赤小豆 アツキノ事ナリ食療本草

ニ云ク鯉魚ト黄和ノ食スル脚氣ヲ
治ス



堀衣 一名ハ昔邪 一名ハ烏韭 一名ハ垣

廡 一名ハ天韭 一名ハ鼠韭 和名ニケラ

クサノコケ雷公カ云占キ垣ノカケキハ

屋ノ上ニ生ス三月三日ニ取テ陰乾

ニス

蒼實 一名ハ蒼面微 一名ハ播麻 一名ハ

棘 一名ハ牛勒 一名ハ莖葉麻 一名ハ山棘

バ九月ニ採テ陰乾ニス雷公カ云今ノ

蒼面微也鹿布ヲ以テ黄毛ヲ拭ヒ去

テ細ニ割ニ漿水ヲ用ヒ蒸テ蒸事ニ

宿ノ目ニ干用ユ和名ニ蒼實具ハダハラ

ノミトアリ

鹽花 シホヤク 所 シホヤク 三 イカ 何 レ 毛 シホヤク 自 シホヤク 燒 シホヤク 付 シホヤク 名 シホヤク
ヲ用 シホヤク

楸 シロヤク 子 シロヤク 中 シロヤク 多 シロヤク 多 シロヤク 拾 シロヤク 三 シロヤク 如 シロヤク 何 シロヤク 三 シロヤク
堅 シロヤク 重 シロヤク キ シロヤク 用 シロヤク 其 シロヤク 三 シロヤク 使 シロヤク 火 シロヤク ヲ

自 シロヤク 檀 シロヤク 香 シロヤク 鑿 シロヤク リ シロヤク 來 シロヤク ル シロヤク 其 シロヤク 三 シロヤク 用 シロヤク 火 シロヤク ヲ

自 シロヤク 及 シロヤク 一 シロヤク 名 シロヤク 其 シロヤク 根 シロヤク 一 シロヤク 名 シロヤク 連 シロヤク 及 シロヤク 草 シロヤク 和 シロヤク 名 シロヤク

枇 シロヤク 杷 シロヤク 葉 シロヤク ヒ シロヤク ヲ シロヤク 葉 シロヤク ノ シロヤク 生 シロヤク ナ シロヤク ル シロヤク 時 シロヤク ニ シロヤク 葉 シロヤク 一 シロヤク 枚 シロヤク
ノ シロヤク 重 シロヤク 一 シロヤク 兩 シロヤク ア シロヤク ル シロヤク 者 シロヤク ヲ シロヤク 胃 シロヤク ニ シロヤク 取 シロヤク 鹿 シロヤク 布 シロヤク ヲ シロヤク 以 シロヤク
テ シロヤク 毛 シロヤク ヲ シロヤク 洗 シロヤク ヒ シロヤク 去 シロヤク リ シロヤク 并 シロヤク ニ シロヤク 筋 シロヤク ヲ シロヤク 去 シロヤク テ シロヤク 其 シロヤク 草 シロヤク
湯 シロヤク ニ シロヤク 洗 シロヤク ヒ シロヤク 又 シロヤク ヲ シロヤク 拭 シロヤク サ シロヤク テ シロヤク 酢 シロヤク ヲ シロヤク 塗 シロヤク 之 シロヤク
テ シロヤク 乾 シロヤク リ シロヤク 乾 シロヤク 用 シロヤク 又 シロヤク 一 シロヤク 説 シロヤク ニ シロヤク 毛 シロヤク 筋 シロヤク ヲ シロヤク 去 シロヤク テ

其 シロヤク マ シロヤク 多 シロヤク リ シロヤク 乾 シロヤク 用 シロヤク ヲ

草 シロヤク 澄 シロヤク 茄 シロヤク 陽 シロヤク 二 シロヤク 向 シロヤク フ シロヤク 者 シロヤク ヲ シロヤク 胡 シロヤク 椒 シロヤク ト シロヤク 云 シロヤク ヒ シロヤク 浸 シロヤク
ニ シロヤク 向 シロヤク フ シロヤク 者 シロヤク ヲ シロヤク 草 シロヤク 澄 シロヤク 茄 シロヤク ト シロヤク 云 シロヤク ト シロヤク 也 シロヤク 胡 シロヤク 椒 シロヤク ノ シロヤク 條 シロヤク
下 シロヤク ニ シロヤク 記 シロヤク ス シロヤク 雷 シロヤク 公 シロヤク カ シロヤク ク シロヤク 酒 シロヤク ニ シロヤク 浸 シロヤク レ シロヤク 蒸 シロヤク フ
已 シロヤク ヲ シロヤク 酉 シロヤク ノ シロヤク 時 シロヤク ニ シロヤク 至 シロヤク リ シロヤク サ シロヤク テ シロヤク 杵 シロヤク ニ シロヤク 細 シロヤク ニ シロヤク
用 シロヤク ヲ シロヤク 也 シロヤク 或 シロヤク 説 シロヤク ニ シロヤク 火 シロヤク ヲ シロヤク 忌 シロヤク ト シロヤク ア シロヤク リ

百 シロヤク 豆 シロヤク 蔻 シロヤク 上 シロヤク 皮 シロヤク ヲ シロヤク 去 シロヤク リ シロヤク 卒 シロヤク ト シロヤク 炒 シロヤク ニ シロヤク 使 シロヤク
百 シロヤク 合 シロヤク 一 シロヤク 名 シロヤク 八 シロヤク 重 シロヤク 箱 シロヤク 一 シロヤク 名 シロヤク 八 シロヤク 重 シロヤク 羅 シロヤク 一 シロヤク 名 シロヤク 八 シロヤク
蓬 シロヤク 花 シロヤク 一 シロヤク 名 シロヤク 八 シロヤク 強 シロヤク 隄 シロヤク 和 シロヤク 名 シロヤク ヲ シロヤク 葉 シロヤク 大 シロヤク ニ シロヤク
花 シロヤク ノ シロヤク 自 シロヤク キ シロヤク ヲ シロヤク 用 シロヤク 工 シロヤク 葉 シロヤク 小 シロヤク ニ シロヤク レ シロヤク テ シロヤク 花 シロヤク ウ シロヤク ス シロヤク ア
カ シロヤク キ シロヤク ハ シロヤク 用 シロヤク 工 シロヤク ハ シロヤク カ シロヤク ラ シロヤク ス シロヤク ニ シロヤク 八 シロヤク 月 シロヤク ニ シロヤク 根 シロヤク ヲ シロヤク 採 シロヤク テ
暴 シロヤク 乾 シロヤク リ シロヤク 薑 シロヤク 頭 シロヤク ヲ シロヤク 去 シロヤク テ シロヤク キ シロヤク サ シロヤク ム
百 シロヤク 草 シロヤク 霜 シロヤク 五 シロヤク 月 シロヤク 五 シロヤク 日 シロヤク ニ シロヤク 色 シロヤク ヲ シロヤク 草 シロヤク ヲ シロヤク 百
種 シロヤク ホ シロヤク ト シロヤク 取 シロヤク リ シロヤク 集 シロヤク メ シロヤク 黑 シロヤク 燒 シロヤク ニ シロヤク ス シロヤク ラ シロヤク ヲ
自 シロヤク 木 シロヤク 一 シロヤク 名 シロヤク 八 シロヤク 山 シロヤク 薊 シロヤク 一 シロヤク 名 シロヤク 八 シロヤク 山 シロヤク 薑 シロヤク 一 シロヤク 名 シロヤク 八 シロヤク 山 シロヤク 連 シロヤク

和 シロヤク 名 シロヤク 三 シロヤク

一名八山芥。一名八天蘇。一名山精。一名八
 七カ如。和名オケラニニ八九月ニ採テ
 暴乾カス。其葉木ノ條下ニモ記ス。白木
 ト著者ホト一種ナリ。製法ハ米ノ汁ニ
 浸ス事。春秋ハ三日。夏ハ二日。冬ハ四
 日。毎日水ヲカヘテヨク洗ヒ上ノ黒キ
 皮ヲ削リ去テ。鹽三日ニ炒リ用ユ
 葱蒜子。和名タウコマカラカレ。實クヨク
 熱シタル時ニ採ル。製法ハ鹽湯ヲ用テ
 煮和シ。上皮ヲ去。實ヲトリ。研テ用
 ヲ葉ハ蒸搗テ。脚氣風腫ノ不仁ナ
 ルニ是ヲ付ヨ効アリ
 白葵花。白アライノ花也。劉二倍ル
 白蒿。昔子。タ多キヤノ實ノ事也。少
 シ炒テ用ユ

葦薤。日本ニテハオニトヨノ事也ト云
 フ蔓アリ根ハ黃ニ白ク節多。葉ニニツ
 カト有テ也。アラク山ノ草ニ似タリ。花
 黄ナルト白キト種々アリ。又花ナクノ白
 キ實ノ子生アリ。又莖ニ刺アリ。根白
 ク堅ニ莖ニ刺ナキハ根ヤハラカナル。軟カ
 シ用テハ八月ニ根ヲ採テ暴乾ス。又一説
 ニサシキスイノ事也トモ云リ
 葦薤。醋ニ二夜ヒタシテフリ乾ス。亦説ニ
 火ヲ息ト云フ。然レ共蘇香圓ナトニ合
 ス。時モ炒ルナリ
 白欬。一名八雀核。一名八白草。一名八白根
 一名八龍鬚。和名ヤカニニ。本ニヒヨトリ
 上戸ニ八月ニ根ヲ採テ暴乾カス
 藤蕪。一名八微蕪。一名八淫離。草ヲ

種名 下 二十四

茵陳和名ハ茵陳ノ條下ニ記

白鮮皮和名ヒズクサ或本ニ花ノ白ク

サマクゲノ根ノ皮也ト未詳ナリ

白水ニ浸シ黒皮ヲ去キサニ炙ル

百部根一名ハ樹木又婆娑草ト名

ク和名ホトツルホトツラ俗ノ云々ヘクツカ

ツラノ根ナリ土氣ヲ洗ヒ作刀ニテ麁

皮ヲ削リ去テ酒ニ一夜ヒタシ割ニ焙リ

乾レ用ユ

白芷和名カキキヨロイグササハツト

異名ト製法ト香白芷ノ條下ニ

記ス

木通通草ト一種也即通草ノ條下ニ記

木香一名ハ蜜香一名五木唐雪リ來其

二割三用火ヲ忌和名サヲモクサ

日本ニ毛幡磨ノ國ニトリ

木賊和名トクサノ事也四月ニ採

元陰乾ニシテ去キム

木瓜和名ホケ銅刀ニ皮ヲ削ステ

核ヲ去日ニ干焙リ用ユ鐵ヲイム

沒藥其ニ碎キ用ユ

出

前胡一名ハ西天蔓和名サタチニハ

月ニ取ニ暴シ草ニ蘆頭ヲテル土氣

ヲ洗ヒキサニ日ニ干

仙靈皮トチノ實ノ皮也唐ヲ用

石花一名ハ浮石一名ハ海南石カレ

シノ事ナリ

石斛一名ハ林蘭一名ハ林生一名ハ杜

和名

二十五

蘭一名石遂和名イワスリトク

似て草花多節ヲ去テ酒ニ浸

ト自ニ干シテ石ニ生スルヲ用ユ木ニ

生スルハムト

石蕪一名石蕪一名石皮和名ト

ツボイ少カレバイワクサイワクサ山中ニ

生スルヲ用ユ人聲水聲聞テ更

ニ九クアヒ二月ニ葉ヲ採テ毛ヲ丹

少レ焙リ用ユ

茜根一名地血一名茹蕪一名ハ

茅蒐一名舊和名アカ子二三月

ニ根ヲ採テ暴ニ乾ス土氣ヲ洗ヒ焙

水ニヒタレテ頭ヲサリ又草草水ニ漬レ

銅刀ニテ割ニ日ニ干鐵并ニ鉛ヲイム

川草又芍藥トモ云之名胡有一名

和名 オナカツネシナカツラ多弁

唐ヨリ來テ用テ唐頭ヲ去リ其ミ

割カサ火ヲ忌日本モアリ江州多キ山

ナトニモアリ處ノ俗是ヲウレト云

之ニ四月ニ採テ暴ニ乾ス

升麻一名八周麻和名トリノアヒト

草ノ根也二八月ニ取テ土氣ヲ洗ヒ毛

ヲ去リ日ニ乾シテ用ユ

仙人草和名トクククサノ事也ト云

石榴皮和名ヒヤクノ實ノ皮也粉ニ

浸レ日ニ干銅刀ニテキセニ用ユ

石脂和名ヒヤクニ名ノ木ノ根ノカサ也粉ニ

石膏和名ヒヤク一名八細理和名ヒヤク日本

三毛備中ノ國飛騨國又太宰府ナ

トリアド也白クワシキ者佳ナリ目
藥ニ黃連煎汁ニヒタシ燒テ使フ
傷寒ナトニ其マ用ユ

石硫黄 打クタキ水者ニ草水
ニテ洗テ研テ水磁メ使フ

石鍾乳 一名公乳 一名芒石 一名ハ
夏石 日本ニモ佐カカイフニアト也
製法ハ右ニ同シ

石牀 一名乳床 一名逆石 鍾乳ノ
下ニアル物ナリ

川山甲 一名鱧鯉甲 判ニ土器ニ炒
テシヨレ用ユ

蟬蛻 一名蟬退 世ニクカラ事也
土氣ヲ洗ヒ日ニ乾シ及リ藥研ニテシヨ
レ用ユ

石突明 アツビカラノ事也 打碎キテ
厚キ處ヲ用 鹿皮ヲ去水ニテ洗
ヒ淨ム

蟾酥 ヒキカイルノ油也 兩ノマカラ
ノ高キ處ノ油紙ヲ以テオセハ白色
ナルアブラ出ル也 ヲシテ貯ヘ置ニ用ユ

薺危 一名只莖危 和名 昔キクモ
ハ入参又ハ桔梗ニ似タリ葉ハ異也ト

二八月ニ根ヲ採テ暴乾ス

旋覆花 一名金沸草 一名戴椹 一名
成椹 和名 シグルマカノツホ 五月ニ

花ヲ採テ日ニ干

石音片 一名公魚果 龍ノ名地椹 一名
石龍 一名彭根 一名八天豆 和名 シ、ヒ

タイ陶隱居カ云實ノ形子 葶藶子

和名

三十一

如レ黄色ニ味ハ少辛蒸ハ青紫色
多ク五月ニ實ヲ採ニ八月ニ皮ヲ取テ
陰乾ス。又唐本注ニ云ク俗ナクテ
水華ト云實ハ紫ノミノ如ク故ニ地楳
ト名ク下濕ノ地ニ生ス子五月ニ熟ス
粒大サ麥子ノ如ク味ニ干味辛レ
千歲藥一名只藥蒸 我名 エソラト
キ。ノク葡萄ノ如ク小科ニミ
生ス圖經ニ云ク五月ニ華ヒラキ七月
ニ實ヲ生ス八月ニ採青黒色ニノ少
赤ト云
石龍菊 一名ハ龍鬚 一名ハ草續 粉
一名ハ龍珠 一名ハ龍花 一名ハ懸菴 一名
八草毒 和名 タダヒケウレノヒタイ五七

月ニ葉ヲ取テ暴乾シ又根ハ九月ニ
取テ暴干
葶藶 龍花ト同レアイロウ事也
アイトネノ上ニ浮云々 浮ヲ取テ白ニ
干ノ使フ
青箱子 一名ハ草蒿 一名ハ蒿蒿 和
之ノ名アノク多ク三月ニ葉ヲ採ニ陰
乾ス五六月ニ實ヲ取ル

水銀 一名ハ汞 和名 ニツタ日本ニハ
伊勢國ニアリ
水銀粉 一名ハ汞粉 一名ハ輕粉 一名ハ
和名ニ白イノ事也一切ノ諸
水雲 和名モツクノ事

水蓼 和名カクダマノ事也冬ニ似テ
葉アカシクニシ心悶スニ搗テ是ヲ
傳三又絞テ汁ヲ服スニ毒氣ヲ消ス
水萍 一名ハ水花 一名水白 一名ハ水蘇
池澤ノ上ニ浮テ生ス草ナリ葉八圓
スウリノ葉ニ似タル二月ニ取テ日ニ
乾メシロシ用

補遺

金石部

消石 一名ハ芒硝 先研テ火中ニ燉
再ニ研テ使フ日本ニハ讚岐國ニ
無時採之
芒硝 製法前記ス日本ニハ大宰府
ニ出ト也

朴硝 一名ハ硝石 朴有鹹水陽是モ
若狹備中ナトニアリ無時採之意安
宗恂云硝ノ類ニ皆一物也只煉様ノ
異ナリノニ
陽起石 一名ハ白石 一名ハ石生 一名
起石 雲母ノ根ナリ
天台石 カニスリドノ事也
礪石 一名ハ磨石 トイシノ石ニル
砂音 アライシ
風化石 即石灰ナリ
伏龍肝 釜ノ膽ノトヲリニ焼ニケル土
也フロシテ水飛ノ使フ
鐵漿 ツハタロ也齒ニ付ルカ子也

宣部

防葵 一名ハ梨蓋 一名ハ房慈 一名ハ

角離一名八農果。名梨茹。一名八カ

蓋。和名ヤナスヒノ根也。二月三日ニ

根ヲ採テ暴シ乾ス。上氣ヲ洗ヒ白水

ニ一夜浸シ。剉ニ灸用ユ

阿芙蓉。ナレハ花ヲ子テ未タ實シ熟

セサル中ニ竹針ヲ以テ上ヨリ刺ハ白キ

汁ニヅル也。コレヲトリ。煎テ乾使フ

菴蘭子。和名ヒヨモキ。ハコト月ニ取

テ陰乾ニス

白蒿。和名ノヲヨモキ。カハヲヨモキ山谷

川澤ニ生ス。二月ニ生

天名精。一名ハ麥句薑。一名ハ蝦蟆藍

一名ハ家首。一名ハ天門精。一名ハ玉門

精。一名ハ葵麴。一名ハ蟾蜍蘭。一名ハ

觀。和名ハタカナ川澤ニ生ス。五月ニ

トル

淫羊藿。一名ハ剛前。和名トリクサ

白薇。一名ハ白幕。一名ハ薇草。一名ハ春

草。一名ハ骨蒸。和名クロメクサ。ニナシ

クサ一説ニ花ノ白キ薔薇也。ト云フニ

月三日ニ根ヲ取テヒゲヲ去。白水ニ

一夜浸メ剉ニ用ユ

草龍膽。一名ハ陵游。日本ニハリンダウ

ト云草ノ根也。二八月十一二月ニ根

ヲ採テ陰乾ニス。土氣ヲ洗ヒ又陰乾

シ。銅刀ニテ剉ニ用ユ。鐵ライム白龍

膽トハ花ノ白シ云

陸塵。一名ハ青苔。アラノリノ事也

積雪草。一名ハ連錢草。和名ツネクサハ九

月ニ葉ヲトル

芋根 和名カラスノ根

葦花 和名ハニシ六月ニ花ヲ取テ陰

乾ニス

敗蒲席 古キガムシロノ事也

粉草 物草ノ大キナル云

蛇母 多クナクイチゴノ事

地菘 和名ハナヒクサ

鹿藿 和名クスカツラ此草ハ苗ハ鹿

ニ似タリ山谷ニ生ス五六月ニ採之

白慈草 和名マダブリク弁スウサ

甘蕉根 ハセヲノ根ナリ

薺 一名ハ董草一名ハ良和名ヨ

トウシクトク田野ニ生ス春夏ハ葉ヲ

リ秋冬ハ莖根ヲトル又云春ハ葉

花ヲ用ヒ夏秋ハ只根ヲ採テ

カネテ細カニ割リ用ユト私ニ云ツク

ノ事

鳴蒜 アサキノ事也

甜瓜 キウリ也

海蘿 フノノ事也

昨葉何草 一名瓦松和名カラス

上屋上ニ生ス初メテ生ス事蓬ノ

如レ真採テ日ニ干

敗船茹 フ子ノカ也

船底苔 フ子ノツヨノニナリ

醜酢汁 イチコノル

蒲公草 一名蒲公草和名クシホ

四五月ニ取

故魚網 古キウラノアミ也



五加皮 一名我漆 一名我節 一名

花魁 和名ウツキノ根皮 十月

取テ白水ニ浸シ 土氣ヲ洗ヒ 坐

焙リ用ユ

棘刺花 介ノ花

仙人杖 冬チノコノヲヘトマリノ事也

柳花 シタヤナキ也

白楊 シラフヤナキ也 赤莖ノヤナキ

水楊 カヤナキ也

黃柳 ツケ也

人部

靈天蓋 シヤリカウノ事

頭垢 カミノアカクケ

亂髮 カミノヲキ也

鳥獸部

飛猪 イノシシ也

羊脛骨 ヒツジノネノ骨ナリ 醋ヲスリ

土器ニテ焼

白膠 一名鹿角膠 鹿ノ角ヲ煮テ

カワト作ト

雞臍脰 ニトリノモケ

白鶴 エヒルノ事也

啄木鳥 ケラツキ

雁肪 カリノアフラ也

虫部

水蛭 一名蛟 一名至掌 和名ヒル本草

三云大ナルモノハ長一尺コレヲ馬蛭ト名ク

又馬蛭トモ名ク尺小ナル者ヲ用テ大

ニ効アリ六月ニ採テ暴乾カス又用テ

白水ニ浸ス一夜ソ乾リ乾レ使フ又云

此物死カ多ク炎炒ラカテ毛水ヲ得ハ
活ス云

蠟和名ケラ製法ハ鹽水ニ浸焙
ニ乾シ研末ノ用



徳毛呉葉雙半夏橘皮枳實麻黃右
此六種如何三陳キヲ用テ藥性強
少毒アル故也



紫蘇薄荷菊花桃花赤小豆槐華澤
蘭欬花
右此八種多クキヲ用陳キヲ用事

トカレ



參藥苦參人參沙參玄參細辛與藜

蘆

白朮白朮飲半身瓜瓠貝母與烏頭
大戟光花海藻并遂與甘草
右是シテ八反ト無誤リ用事トカレ



昔蒲 龍膽 茜根 五味子

栝樓 麻黃 芍藥 知母

牡丹 藜蘆 商陸 香附子

檉花 皂莢 雷丸 猪苓

蒺藜 薯蕷 陳子 桑白皮

桑葉 石榴皮 桑寄生

已上二十二種ハ鐵氣ヲム

地黃 玄參 益母草 肉豆蔻

已上四種ハ銅鐵ヲ忌ム

辰砂雄黃已上二種ハ銅カリヲ忌右

銅鐵之忌ノ藥也フヤミリオカス事
ナカレ

火ノ忌ノ藥

青黛	犀角	茵陳	羚羊角
苦根	柴胡	木香	雲母
苦消	鍾乳	朴硝	魚餘糧
滑石	雄黃	礞石	川芎
藍葉	乳香	甘草	桂心
丁子	白檀	藿香	香白芷
檳榔	麝香	牛黃	薄荷
紫草	沉香	胡椒	薰陸香

右火ノイノ藥也

雷公藥性論炮製

燬
火ノシテワタルトク也

